

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
2012年度（平成24年度）総会  
議案書

と き 2012年6月21日（木）15時20分より  
ところ 青年の家いぶき 大会議室



# 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2011 年度（平成 23 年度）事業報告

## 1. 全体のふりかえり

2011 年度は、『持続可能な地域づくりの 10 年に向けて第 2 次行動計画のスタートを』という全体方針を掲げて活動を進めました。

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響に関連して、生活部会では「災害と環境」をテーマとした連続講座を、事業部会では「津波・高潮ステーション」への見学会を開催するなど、環境の視点から地震と安全対策について考えました。

2011 年 6 月には、とよなか市民環境会議の総会にて「第 2 次豊中アジェンダ 21」が策定され、新しい行動提案に基づいた活動がスタートしました。当法人として「第 2 次豊中アジェンダ 21」の推進はもとより、冊子作成・リーディングプロジェクトの実施・88 項目の行動提案の評価方法検討などに積極的に参加・協力しました。なお、自然部会では、新しい行動計画に盛り込まれた赤坂下池のツバメのねぐらなどについて、保全のための行動をさっそく開始しました。

それ以外の新たなスタートとして、全体活動では、とよなか市民環境展を初めて豊島体育館で開催し、ワンフロア一体となった展示構成になりました。同時開催イベント等がなくなったため、来場者全体では人数減でしたが、一般の来場者は 2010 年度と比べて増加しました。また、提案公募型委託制度により、豊中市コミュニティ政策室のマネジメント講座を受託・実施し、市民活動分野での事業にも成果を残しました。

また、部会・プロジェクト活動では、花と緑のネットワークが就業体験的ボランティア事業といった従来のボランティア活動に留まらない新たな方法も模索・実施しました。一方で、これまで豊中市と協働で実施していた地球温暖化対策プロジェクトの「市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業」を受託することができませんでした。これについては協働での持続可能な地域づくりに向けて課題を残しました。

## 2. 全体活動

### (1) NPO 法人運営

#### ア 会員の状況

2012 年 3 月 31 日現在の会員数は以下の通りです。

	正会員	賛助会員	合計
個人	149 人	8 人	157 人
団体	37 団体	1 団体	38 団体

2002 年 6 月に「豊中アジェンダ 21 推進会」として設立以降の年度ごとの会員数は以下の通りです。

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
個人（人）	110	115	121	139	137	140	153	149	159	157
団体（団体）	31	38	41	44	44	40	36	36	36	38

#### イ 総会の開催

2011 年度の通常総会を以下の通り開催し、すべての議案が提案どおり承認されました。

当日は NPO 法人総会に先立ち、「地球温暖化への取組みの新たな段階を迎えて」と題した、盛岡通さん（関西大学環境都市工学部教授・大阪大学名誉教授）による講演会と、とよなか市民環境会議の総会

が行われました。

日 時 2011年6月21日(火) 15時30分～16時30分

場 所 豊中市立青年の家いぶき 大会議室

出席者 155人(内委任状82人、当日の会員数191人)

来 賓 豊中市長 浅利敬一郎さん、豊中市議会議長 片岡潤子さん

議 長 松下高明さん

議事録 署名人：新開悦子さん(理事長)、上村有里さん 作成：三宅史郎さん

議 案 事業報告

第1号議案 2010年度(平成22年度)事業報告について

第2号議案 同収支決算報告について

第3号議案 同監査報告について

事業計画

第4号議案 2011年度(平成23年度)事業計画について

第5号議案 同収支予算書について

#### ウ 理事会

理事会は基本的に隔月の第4月曜日に開催しています。理事会を開催しない月は理事協議会を開催しています。

開催日	主な議題	出席者数
4月25日	協定書/総会/議案書/第2次豊中アジェンダ21	9人
6月6日	総会/議案書/第2次豊中アジェンダ21	12人
8月22日	第2次豊中アジェンダ21/地球温暖化対策プロジェクト/環境展	8人
9月26日	事務局員/地球温暖化対策プロジェクト/環境展/のぼり旗	11人
10月24日	省エネ推進事業の結果と対応/環境展/イベント出展	10人
12月19日	環境展	9人
2月27日	職員の勤務体制/特別理事会/第2次豊中アジェンダ21/今年度報告と次年度計画/役員改選/エコ市民賞	11人
3月26日	リサイクル交流センター/職員の勤務体制/第2次豊中アジェンダ21/協定書/次年度予算/今年度報告と次年度計画/次年度の事務局対応	11人
合計	8回	81人

#### 理事協議会

開催日	主な内容	出席者数
5月23日	総会/議案書	7人
7月25日	第2次豊中アジェンダ21/豊中まつり/ホームページ/環境展	8人
11月28日	環境展/第2次豊中アジェンダ21	8人
1月23日	環境展/エコ市民賞/特別理事会/今年度の予算執行	11人
合計	4回	34人

#### エ インターンシップの受け入れ

事務局では大学からのインターンシップ研修を受け入れています。2011年度は(公財)大学コンソーシアム京都と(特活)大学コンソーシアム大阪を通じて合計4人を受け入れました。また、豊中市伊丹市クリーンランドへのインターンシップ生2人を当法人でも1日受け入れました。

大学名	学部など	期間	日数	人数
京都橘大学	現代ビジネス学部	8月1日～12日	10日間	1人
京都外国語大学	外国語学部	8月22日～9月2日	10日間	1人
大阪教育大学	教育学部	8月22日～9月2日	10日間	1人
摂南大学	工学部	8月24日～9月16日	10日間	1人

※クリーンランドのインターンシップ生 8月5日（関西大学2人）

## （２）環境情報サロンの運営

豊中市の施設「環境情報サロン」の運営を当法人が市から受託し、法人の事務局を置いています。

開館日 月曜日～金曜日（年末年始、土曜日、日曜日、休日は閉館）

開館時間 午前10時～午後4時

- 施設概要
- ・環境関連の図書・雑誌やビデオ、各種情報誌等の閲覧コーナー
  - ・パソコンによる環境情報の閲覧コーナー
  - ・環境啓発に関する各種催し

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来場者数	413人	317人	402人	329人	507人	349人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来場者数	387人	361人	339人	272人	280人	315人

年度	2004（6～3月）	2005	2006	2007
来場者数	1,986人	3,425人	3,892人	3,634人
年度	2008	2009	2010	2011
来場者数	3,769人	3,853人	4,479人	4,271人

2011年度の来場者は、前年度よりも約200人減少しましたが、2009年度までと比べると、多い人数であったといえます。

環境情報サロンでの取り組みとして、2007年度より「おもちゃ病院」を偶数月の第2土曜日に開催しています。2011年度は、4月9日、6月11日、8月13日、10月8日、12月10日（とよなか市民環境展の会場にて）、2月11日の6回開催しました。

環境情報サロンは、2005年度から2006年度の「おおさかレインボウぷろじェくと！」で雨水タンクを、2008年3月から「エコSUN市民発電」で太陽光パネルを設置するなど、環境配慮型設備の維持管理、活用を図っています。また、2010年4月から家庭で不要となった陶器の食器を提供、または、自由に持ち帰られる「陶器とりかえボックス」を設置しています。

## （３）「第2次豊中アジェンダ21」の策定・推進

### ア 策定委員会

「第2次豊中アジェンダ21」が策定されるにあたり、2009年7月から策定委員会を開催し、「第2次豊中アジェンダ21」について議論してきました。2011年度は、6月のとよなか市民環境会議総会で承認されるまでに2回の策定委員会を行いました。「第2次豊中アジェンダ21」の策定主体はとよなか市民環境会議ですが、策定委員会へは当法人の各部会から3人選出するとともに、事務局を担いました。

実施日	主な内容	場所
4月22日（金）	冊子案	環境情報サロン
5月9日（月）	冊子案	環境情報サロン

イ リーディングプロジェクト

2009年度の市民ワークショップの意見を踏まえて、これまでの「豊中アジェンダ 21」の推進において取り組む機会がなかった4つのプロジェクトを2010年度に設定し、市民・行政が参加して一緒に考えながら試行してきました。2011年度は、このうち2つのプロジェクトについて継続して取り組みました。

- リユースに取り組んでいる団体や施設を把握し、必要であればその活動をサポートし、市民がリユースしやすくなる情報発信を行う

実施日	場所	内容	参加者数
5月23日(月)	環境情報サロン	2011年度に取り組みアイデア	6人
6月20日(月)	環境情報サロン	企画シートの意見交換	5人
7月6日(水)	環境情報サロン	企画内容の検討	7人
7月25日(月)	環境情報サロン	くるくる大作戦の内容を検討	6人
9月7日(水)	環境情報サロン	くるくる大作戦の当日確認	6人
9月15日(木) ～17日(土)	リサイクル交流 センター	くるくる大作戦の開催	96人
9月26日(月)	環境情報サロン	くるくる大作戦のふり返り	5人
12月26日(月)	環境情報サロン	今後の進め方について	5人
1月20日(金)	環境情報サロン	環境政策室との意見交換	9人
2月27日(月)	環境情報サロン	クリーンランドとの意見交換	6人
3月30日(金)	環境情報サロン	意見交換のふり返り	6人
合計		11回	157人

- 事業所環境担当者同士が出会い交流し学習し合い、新たな地域協働活動を展開する場づくり

実施日	場所	内容	参加者数
4月6日(水)	環境情報サロン	場づくりの概要を検討	4人
5月17日(火)	環境情報サロン	場づくりのプログラム検討	6人
6月18日(土)	環境情報サロン	場づくりの準備、広報検討	4人
7月20日(水)	環境情報サロン	場づくりの準備	3人
8月31日(水)	環境情報サロン	場づくりの準備	4人
9月15日(木)	リサイクル交流 センター	環境担当者交流会の開催	11人
9月28日(水)	環境情報サロン	環境担当者交流会のふり返り	4人
10月5日(水)	環境情報サロン	環境担当者交流会のまとめ案検討	4人
10月19日(水)	各事業所	環境担当者交流会の参加事業所訪問(1社)	2人
10月20日(木)	各事業所	環境担当者交流会の参加事業所訪問(3社)	3人
10月25日(火)	各事業所	環境担当者交流会の参加事業所訪問(1社)	2人
11月2日(水)	環境情報サロン	事業所訪問のふり返り	5人
12月7日(水)	環境情報サロン	今後の展開について	3人
1月18日(水)	環境情報サロン	今後の展開について	4人
2月15日(水)	環境情報サロン	第2回環境担当者交流会の開催を検討	6人
3月14日(水)	環境情報サロン	第2回環境担当者交流会の概要を検討	4人
合計		14回	69人

## ウ 検証・評価

「第2次豊中アジェンダ21」の88項目の行動提案について、とよなか市民環境会議の総会で毎年評価を公表するとしています。2012年度の総会から公表を開始するにあたり、当法人も協力して、評価方法などを検討しました。

## (4) とよなか市民環境展 2011 の開催

### ア 概要

テーマ：すぐにはじめよう ―暮らしの中のエコと安全―

日時：2011年12月9日(金)・10日(土) 両日とも10時～16時

場所：豊中市立豊島体育館

主催：NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

共催：とよなか市民環境会議、豊中市、豊中市教育委員会、  
公益財団法人豊中市スポーツ振興事業団

協力：服部商店会連合、豊中市労働組合連合会

備考：大阪湾広域臨海環境整備センターの「環境保全市民活動等助成金」を受けました

### イ 内容

- ・ 出展団体による展示・体験
- ・ 子ども体験コーナー
- ・ テーマ展示（防災に関する展示、省エネ（LED電球）に関する展示）
- ・ ステージコーナー
- ・ 自然工作
- ・ 滋賀県甲賀の間伐材利用コーナー
- ・ エコカーの展示
  - 電気自動車、天然ガストラック
  - 低公害バスの展示と子ども用制服貸出しによる写真撮影【9日のみ】
- ・ 竹炭・竹酢液の有料配布
- ・ 科学体験コーナー【9日のみ】
- ・ 未来の森づくり体験（どんぐりの植え付け）【10日のみ】
- ・ 自転車バランス王座決定戦（10:00～13:00）【10日のみ】
- ・ おもちゃ病院（10:00～12:00）【10日のみ】
- ・ BDF燃料精製機の展示【10日のみ】
- ・ 飲食コーナー（リユース食器使用）【10日のみ】
  - やきそば、洋食焼、おでん、豚汁、オーガニック喫茶、わたがし
- ・ 有料配布コーナー【10日のみ】
  - とよっぴー、とよっぴー野菜、図書館リサイクル本、リユース品
  - 東北の物産品、服部商店会連合のPR商品
- ・ スタンプラリー（服部商店会連合のお買い物券がもらえるダブルチャンス）
- ・ 豊中のゆるキャラの登場（9日マチカネワニ、10日服部はっぴー）

### ウ 参加者数等

- ・ 参加者数：2,443人（出展団体関係者・来場者含む2日間のべ人数）
- ・ 学校参加数：11校・1園
- ・ 参加団体数：55団体

エ 出展団体説明会

回	日時	内容	場所	参加者数
1	9月26日(月)	豊島体育館について／出展／スケジュール	福祉会館集会室	15人
2	11月28日(月)	全体の企画内容・配置／搬入・準備・撤収／ 当日の運営・安全管理・注意事項／出展・参加団体交流タイム	福祉会館集会室	37人
合計		2回		52人

オ プロジェクト会議（当法人＋豊中市環境政策室＋豊中市スポーツ振興事業団）

実施期間	内容	参加者数
6月29日(水)～1月11日(水)	プロジェクト会議(7回)	81人
9月5日(月)～10月19日(水)	プロジェクト広報会議(3回)	12人
9月5日(月)～11月21日(月)	プロジェクト企画会議(4回)	25人
合計	14回	118人

(5) エコSUN 市民発電（市民共同発電）

ア 発電状況

2011年度の自給率は平均で27%でした（2010年度は26%）。2010年度と比べて、年間の消費積算を約400kwh減らすことができました。

月	発電積算(A)	消費積算(B)	売電	買電	自給率(A)/(B)
4月	152kwh	450kwh	38kwh	336kwh	34%
5月	149kwh	409kwh	35kwh	295kwh	36%
6月	149kwh	438kwh	20kwh	309kwh	34%
7月	146kwh	385kwh	38kwh	277kwh	38%
8月	158kwh	468kwh	20kwh	330kwh	34%
9月	114kwh	446kwh	23kwh	355kwh	26%
10月	105kwh	414kwh	23kwh	332kwh	25%
11月	74kwh	435kwh	9kwh	370kwh	17%
12月	75kwh	438kwh	21kwh	384kwh	17%
1月	74kwh	414kwh	19kwh	359kwh	18%
2月	91kwh	449kwh	19kwh	377kwh	20%
3月	113kwh	488kwh	20kwh	395kwh	23%
計	1,400kwh	5,234kwh	285kwh	4,119kwh	27%

イ 売電金額

2011年度の売電収入は13,152円でした。2009年12月から太陽光発電の買い取り価格制度が変更され、価格が倍額の1kwhあたり48円となった結果、2010年度以降は売電金額が増加しています。この収入額は「豊中市地球温暖化防止基金」に充当され、諸活動の資金として活用されます。

年度	2008	2009	2010	2011
金額	7,171円	8,072円	13,536円	13,152円



ウ 収支決算の状況

収入は主にカンパ収入等で 105,417 円（繰越金含む）に対し、支出は出資金の返還 105,000 円で収支差額は 417 円でした。

返還を前提に募集した出資金について、出資者全員（6 人）へ半額ずつを返還しましたが、まだ 105,000 円不足しているため、引き続き、不足分の収入を確保して全額返還の手続きを完了するよう努力しなければなりません。

エコ SUN 市民発電収支計算書（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）

（単位：円）

科目	決算額	備考
収入の部		
カンパ収入	4,085	
雑収入	15	預金利子
当期収入合計（A）	4,100	
前期繰越金	101,317	
収入合計（B）	105,417	
支出の部		
出資金の返還	105,000	出資者全員へ半額を返還
支出合計（C）	105,000	
収支差額（A）－（C）	△100,900	
繰越金（B）－（C）	417	

（6）家電エコポイント・住宅エコポイント寄附対象団体

省エネ家電への買い替えや省エネ住宅へのリフォームなどで国の家電エコポイント・住宅エコポイントが付与されています。こうしたエコポイントの使い道の一つとして、物品への交換など以外に、環境活動を行っている団体へ寄附することもできます。当法人は 2010 年度より家電エコポイントと住宅エコポイントの環境寄附対象団体となりました。

ア 環境寄附の活用方法（申請・公開されている内容）

事業・プロジェクト名	豊中市内の地球温暖化対策の推進	
家電／住宅エコポイント寄附の使い途	豊中市では「豊中市地球温暖化防止地域計画」において、1990 年比で 2050 年に 70%、2020 年に 20%の温室効果ガス削減を掲げているため、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、計画推進につながる取り組みを実施していきます。	
寄附額に応じた活動例	1 円～300,000 円の場合	市民や小学生が参加して、地球温暖化対策等を体験・学習する「とよなか市民環境展」の開催費用とします。
	300,000 円～1,000,000 円の場合	豊中市内の小規模事業者や小売店等を対象とした省エネ診断の実施費用とします。
	1,000,000 円以上の場合	地域の拠点施設に設置する「市民共同発電所」（エコ SUN 市民発電）の設置費用とします。

イ 家電エコポイントの寄附額

期間	金額	活用方法
2010 年度 (2011 年度に活用)		
12 月 17 日～2 月 17 日	203,614 円	小規模事業所や小売店の省エネ診断 (地球温暖化対策プロジェクト)
2 月 18 日～3 月 17 日	127,327 円	
2011 年度		
交換事業者から全環境寄附対象団体へ均等に分配する環境寄附 (年 1 回)	265,141 円	とよなか市民環境展 2011
3 月 18 日～5 月 19 日	174,704 円	2012 年度に活用
5 月 20 日～8 月 18 日	86,852 円	2012 年度に活用
8 月 19 日～2 月 16 日	187,413 円	2012 年度に活用
合計 (2011 年度)	714,110 円	

ウ 住宅エコポイントの寄附額

期間	金額	活用方法
2010 年度 (2011 年度に活用)		
8 月 20 日～2 月 17 日	3,817 円	とよなか市民環境展 2011
2011 年度		
交換事業者から全環境寄附対象団体へ均等に分配する環境寄附 (年 1 回)	25,795 円	とよなか市民環境展 2011
2 月 18 日～8 月 18 日	19,556 円	
8 月 19 日～2 月 16 日	14,588 円	
合計 (2011 年度)	59,939 円	

(7) 共同デスク

(財) とよなか国際交流協会、(財) とよなか男女共同参画推進財団、(社) 豊中市社会福祉協議会、NPO 法人とよなか市民活動ネットきずな、当法人の 5 団体の担当者などにより、ゆるやかなネットワークと情報発信を目的に、共同デスクとして壁新聞の作成などを行いました。壁新聞は当法人のホームページなどでも公開しています。

これは、2010 年度に 5 団体で「2011 とよなかの市民活動ガイドブック」を発行したことを契機に、継続して連携していくための取り組みです。

実施日	内容
8 月	壁新聞 (試作版) 発行
9 月 4 日 (日)	交流サロン (とよなか国際交流協会の震災復興バザーにて)
11 月	壁新聞 (第 1 号) 発行
2 月	壁新聞 (第 2 号) 発行

(8) 服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会

服部緑地から天竺川沿いにつながる緑や河川を一体として捉え、地域の中でそのあり方を考えていくプロジェクトです。

当法人は、この協議会の事務局を大阪府池田土木事務所、豊中市環境政策室と共同で担い、協議会の開催 (2 回) や天竺川の河川開放 (2 回)、天竺のはらっぱ開放 (8 回) などを実施しました。

## 協議会構成団体

履正社学園豊中中学校、緑地小学校、あけぼの幼稚園、服部みどり幼稚園、北条小学校、豊中十六中校区地域教育協議会、社団法人豊中青年会議所、天竺のはらっぱであそぼう会、天竺川ホテルの会、服部緑地指定管理グループ(財)大阪府公園協会、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、豊中市、大阪府

## (9) ESD

2005年1月より国連「持続可能な開発のための教育(ESD)」の10年が始まり、地域でもこのESDを進めようと、豊中においてNPO、市の外郭組織、市、教育委員会などがゆるやかな連携で取り組みを始めています。当法人としては、広い意味での環境学習(あらゆる年齢層への働きかけ、人材育成、参加)に資する取り組みとして今後の活動の広がりにつながることを期待し、積極的に参画しています。

2009年度より、ESDとよなか事務局会議をESDとよなか連絡会議に再編し、2011年度は4回の連絡会議が行われました。

### ESDとよなか連絡会議参加組織

(財)とよなか国際交流協会、(財)とよなか男女共同参画推進財団、(社)豊中市社会福祉協議会、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、NPO法人とよなか市民活動ネットきずな、とよなか人権文化まちづくり協会、赤ちゃんからのESD、豊中市(環境政策室・人権企画課・千里文化センター)、豊中市教育委員会(地域教育振興課・人権教育企画課)

## (10) 市民活動のマネジメント講座

豊中市コミュニティ政策室が実施しているマネジメント講座について、提案公募型委託制度により協働で取り組む団体の募集に応募したところ、当法人が採択されました。2011年12月～2012年2月にかけて、豊中市と協働で全5回の講座を実施しました。

また、5回分の内容を盛り込んだテキストブックを作成し、講座で利用するとともに、講座後には内容を改定した「市民活動 応援ブック」(約50ページの冊子)を発行しました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
12月18日(日)	市民参加についての講演、市の概要説明	すこやかプラザ	12人	4人
1月15日(日)	参加者の悩みを抽出するワークショップ		6人	4人
1月22日(日)	組織運営・広報・助成金などの講座		13人	4人
1月29日(日)	課題解決・合意形成を考えるワークショップ	中央公民館	14人	3人
2月4日(土)	協働の説明、連携をめざすワークショップ		11人	3人
合計	5回		56人	18人

## (11) 広報活動

当法人の広報活動としては、ニュースレターの発行、ホームページの作成・更新、毎月の活動案内の送付、「広報とよなか」への掲載、市の広報広聴課への情報提供、豊中・池田ケーブルテレビへの出演、講演依頼への対応などを行っています。

### ア ニュースレター

「とよなか環境ニュースレター」を年4回発行しています(2011年度はNo.35～No.38)。企画・編集は広報チームが行い、月に1回ずつ編集会議や校正会議などを行っています。2011年度から印刷機を使った手づくりに変更し、各号1,000部を発行しました。会員への配布、とよなか市民環境会議構成

団体や関係団体への送付のほか、豊中市各施設で配布しています。なお、バックナンバーはホームページでも公開しています。

#### イ ホームページ

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 のホームページを開設し、情報提供を行っています。また、2011 年 7 月より、休止していた事務局日記（ブログ）を再開しました。

ホームページアドレス：<http://toyonaka-agenda21.jp/>

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
ホームページ アクセス数	8,443	8,734	6,643	7,101	5,514	5,547	5,883
アクセス数累計	29,903	38,637	45,280	52,381	57,895	63,442	69,325

### (12) 他の団体・自治体との連携・交流

#### ア くらしかん登録グループ

豊中市生活情報センターくらしかんの登録グループに登録し、毎月グループ連絡会に参加しています。くらしかん 1 階の生活情報ひろばでパネル展を行ったり、くらしかと共催事業などを行っています。

実施日	内容	場所
毎月第 2 水曜日	地産地消イベント	くらしかん
毎月第 4 金曜日	くらしかんグループ連絡会	くらしかん
5 月 11 日（水）	悪徳商法追放キャンペーン準備	くらしかん
5 月 13 日（金）	悪徳商法追放キャンペーン	豊中駅前
7 月 1 日（金）～29 日（金）	パネル展「豊中の自然」	くらしかん
7 月 27 日（水）	夏休み工作教室（竹炭風鈴）	くらしかん
10 月 29 日（土）	くらしかん祭り	くらしかん
1 月 5 日（木）～31 日（火）	春の七草展示と「第 2 次豊中アジェンダ 21」の紹介	くらしかん
3 月 1 日（木）～30 日（金）	パネル展「省エネの暮らし」	くらしかん

#### イ 環境パートナーシップ研究会

近畿圏を中心とした自治体職員、NPO 職員、研究者などが集まり、環境について市民と行政がパートナーシップで施策を進めるための研究会を開催しています。当法人からも研究会の運営に参加し、参加者や関係者とのネットワークづくりや情報共有を行っています。

なお、2011 年度は 9 月 3 日（土）に第 14 回、11 月 19 日（土）に第 15 回の研究会を開催しました。

#### ウ 環境自治体会議

豊中市が会員となっている環境自治体会議の全国大会「第 19 回環境自治体会議にいほま大会」（愛媛県新居浜市）が 5 月 25 日（水）～27 日（金）に開催され、当法人から 1 人が参加しました。なお、今回の参加は豊中市労働組合連合会にお誘いいただきました。

#### エ その他の参画・構成団体

当法人として豊中市内外の関連する団体やネットワークへ参画・構成しています。

団体・ネットワーク名	地域	形態	備考
マイバッグ持参・レジ袋削減協定	豊中市内	協定締結	協定期間 2012 年 3 月 31 日まで
島熊山緑地協議会	豊中市内	団体会員	

豊中市マイバッグ推進協議会	豊中市内	構成団体	
しょうない REK	豊中市内	参加団体	
温暖化防止ネットワーク関西	関西	参加団体	
NPO 法人太陽光発電所ネットワーク	全国	団体会員	2011年5月末で退会

#### オ 視察・ヒアリング対応

各地から当法人の取り組みや「豊中アジェンダ 21」について視察・ヒアリングの要望があり、可能な範囲で対応しました。なお、花と緑のネットワークとよなかでは、緑と食品のリサイクルプラザの施設見学や生ごみ堆肥化事業などへの視察対応を別途行っています。

実施日	視察者
5月26日(木)	大阪大学大学院法学研究科(グリーンアクセスプロジェクト)
10月3日(月)	(株)ぎょうせい(月刊「ガバナンス」11月号の取材)
11月24日(木)	生駒市環境基本計画推進会議(ECO-net 生駒)
2月1日(水)	(財)北海道環境財団

#### カ その他

実施日	内容	主催	場所
4月23日(土)	緑化リーダー養成講座開講式(講師)	豊中市	花とみどりの相談所
4月29日(祝)	レンゲまつり(出展)	豊中市	走井3丁目
4月29日(祝)	メーデーリサイクルバザー(出展)	連合豊中	豊島公園
4月29日(祝)	スプリングフェスタ(出展)	豊中市	花とみどりの相談所
5月21日(土)	千里川再発見!親子環境教室(共催)	豊中市教職員組合 他	千里川
6月11日(土)	通学路の安全を考えるシンポジウム(共催)	豊中市教職員組合 他	豊島北小学校
6月11日(土)	島熊山緑地協議会定時総会(参加)	島熊山緑地協議会	西丘小学校
6月11日(土)	東日本大震災の被災者交流会(協力)	豊中市社会福祉協議会 他	箕面スパーガーデン
7月28日(木)	ボランティア活動支援団体意見交換会(参加)	豊中市	市民活動情報サロン
7月31日(日)	上下流連携の森づくりの集い(参加)	甲賀愛林クラブ	甲賀市山林
8月6日(土) 7日(日)	豊中まつり「環境情報サロンパネル展」(協賛事業)	豊中まつり実行委員会	環境情報サロン
8月20日(土)	第7回千里文化センターフォーラム(協力)	豊中市 他	千里文化センター「コラボ」
9月17日(土)	環境フォーラム2011(共催)	豊中市	リサイクル交流センター
9月25日(日)	第5回とよなかわくわくフェスタ(出展)	豊中自動車教習所	豊中自動車教習所
10月15日(土)	市制施行75周年記念式典(来賓出席)	豊中市	アクア文化ホール
10月23日(日)	クリーンランドフェスティバル(共催)	豊中市伊丹市クリーンランド	クリーンランド

10月30日(日)	みどりのフォーラム(出展)	豊中みどりの交流会 2011 実行委員会	すてっぷ
11月19日(土)	農業祭(出展)	農業委員会	豊島公園
12月3日(土)	第3回新千里西町ふれあいフェア(共催)	新千里西町商店街	新千里西町商店街
12月3日(土)	第6回市民文化祭(後援)	豊中の市民文化を支える会	すてっぷホール
2月9日(木)	市民ボランティア養成講座(講演)	豊中市伊丹市クリーンランド	クリーンランド

### (13) 審議会・委員会等への参加

豊中市などの審議会や各種委員会に委員として参加しています。なお、出席日には代理による出席も含んでいます。

名称	参加者名	主な内容	出席日(回数)
とよなか市民環境会議	新開悦子	豊中アジェンダ21の推進	5/19,11/10,3/22(3回)
環境審議会	廣田 学	とよなかの環境Ⅰ、Ⅱ 第2次環境基本計画	8/9,11/2,2/22(3回)
廃棄物減量等推進審議会	茨木かづ子	第3次一般廃棄物処理基本計画、第3次ごみ減量計画	11/7(1回)
	今井文子	第3次ごみ減量計画の推進	3/19(1回)
ESTモデル事業推進委員会	廣田 学	コミュニティバスの運行	11/22,3/27(2回)
食育推進協議会	高島邦子	食育推進計画の進行管理と評価	7/6,2/17(2回)
とよなかサイエンスネット実行委員会	廣田 学	科学教育の推進	10/6,3/16(2回)
豊中市チャレンジマイナス70推進協議会	廣田 学	省エネ支援システムとエコポイント制度の推進	12/5,3/26(2回)
服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会	山口 壽	天竺川の親水性、アクセス性や有効活用の推進	6/2(1回)

### (14) その他

#### ア ごみの新分別説明会

9月12日(月)に環境情報サロンにて、当法人の会員を対象とした「ごみの新分別に関する説明会」を開催しました。2012年度からごみの分別方法が新しくなるのに向けて、減量推進課の協力を得て開催したもので、会員18人が参加しました。

### 3. 生活部会

生活部会では「豊中アジェンダ 21」のモットーである地球温暖化防止活動の一環として、省エネ型ライフスタイルの普及啓発、省資源・循環の暮らしを促進するため、さまざまな活動を行っています。

#### (1) エコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）活動

##### ア 2012年版エコライフカレンダーの発行

エコライフカレンダーの作成作業は、「豊中アジェンダ 21」の行動計画の作成と並行して、1997年7月から議論がはじまり、1998年6月に啓発目的としてA3版の大きなサイズで配布しました。現在のエコライフカレンダーのスタイルになったのは1999年に作成した2000年版からです。

2012年版エコライフカレンダーは、2011年12月に発行しました。これで、13回の発行を重ねたこととなります。また、当法人が市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業を担わなくなったことに伴い、エコライフカレンダーモニターに対してエコポイントチケット「とよか」を送付する業務のみ、生活部会で受けて対処しました。2012年2月に284人に対し、1,423枚の「とよか」を送付しました。

##### イ エコライフカレンダー活動の過去11年間の分析・解析

エコライフカレンダー活動の過去11年間のモニターのデータ分析・解析研究を行い、暮らしの省エネについての検証・調査・研究を行いました。

エコライフカレンダー運動が始まってからの11年間における社会的な状況変化、家族構成・住居の変化、省エネ機器への買い替え、太陽光発電の設置などの動向などを調査検証するとともに、エコライフカレンダーのモニターを5年以上継続してもらっている90の方を対象に、2011年12月にアンケートを実施し、53人から回答が寄せられました。この結果をとりまとめ、2012年3月14日（水）の「くらしから提案！2011」にて、「エコライフカレンダー（環境家計簿）運動の11年」と題して発表しました。

長年エコライフカレンダーのデータの集計・検証を続けてきた意義をあらためて認識させられました。また、長期にわたりご協力いただいたモニターのアンケートに寄せられた声からも、省エネ生活の中での豊かな生活をめざして暮らしていく大切さを学びました。

##### ウ 2010年のエコライフカレンダー活動

2010年1年間のエコライフカレンダーモニターから寄せられたデータを集計・分析まとめの作業を行い、2011年6月に「2010年エコライフカレンダー活動を振り返る」の冊子を発行しました。

2010年に登録されたエコライフカレンダーモニターは、一般モニター151人、太陽光発電モニターは140人で合計291人でした。太陽光発電モニター数が昨年の70人に対し2倍に増えています。しかし1年分が完全に揃ったデータは43人とどまりました。これは豊中市の太陽光助成金の募集が4月から始まるため、年度途中からのデータを出す人がいることによる事情と推察しています。

太陽光発電モニターの家族構成は1人世帯、2人世帯が少なく、3人世帯以上が多いのが特徴です。当然エネルギー消費も多くなっていますが、夏期（6～9月）は太陽光発電の効率がよいため、電気使用量（買電量）は一般モニターとあまり差はなく、発電効果が確認できました。

実施期間	内容	場所	スタッフ数
4月11日～ 6月17日	「2010年エコライフカレンダー活動を振り返る」編集会議・印刷・発送作業など8回実施	環境情報サロン	38人
9月2日～ 12月15日	2012年エコライフカレンダーの作成・配布 とよなか市民環境展2011（12月9日、10日）にて啓 発など16回実施	環境情報サロン 豊島体育館	69人

1月11日～ 3月14日	モニターアンケートの実施など13回実施 エコライフカレンダー運動の11年を研究発表	環境情報サロン くらしかん	35人
合計	37回		142人

## (2) 環境学習会・見学会・省資源循環の暮らし

### ア 「災害と環境」連続講座

2011年度は、2011年3月11日の東日本巨大地震・大津波による甚大な被害の拡大など厳しい現実  
に直面した年になりました。こうした現実を踏まえ、緊急課題として、よりよい生活環境を維持するた  
めに、災害にどう対処していったらよいかを、「災害と環境」をテーマに開催しました。

17年前に発生した阪神・淡路大震災の体験を振り返り、災害とどう向き合うか、それが私たちの環境  
活動とどうつながるのかなど、豊中の事例（講座）や見学会を通して考えました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
6月30日（木）	第1回「地震と水道（ライフライン）」 心がけと対応の仕方によっては、被害の回避や縮 小ができることを学習	環境情報サ ロン	16人	3人
7月15日（金）	第2回「災害・がれきやごみ問題」 災害廃棄物は膨大で、特に原発事故による汚染物 資の処分の困難さを学習	環境情報サ ロン	13人	3人
8月8日（月）	第3回「災害への窓口対応」 災害への窓口対応の経験から、緊急時での対応な どの難しさを学習	環境情報サ ロン	13人	3人
9月30日（金）	第4回「人と防災未来センター見学」 当時の体験をかたる「語り部」の方のお話や、防 災対策などの具体的な内容について学習	人と防災未 来センター	21人	3人
10月21日（金）	第5回「災害に備える」 災害からわが身を守るのに必要なことは《自助・ 共助・公助》が基本であることを学習	環境情報サ ロン	16人	3人
合計	5回		79人	15人

### イ わいわいクラブ講座

日頃の暮らしから得たヒントや知恵・情報を持ち寄って、わいわいガヤガヤ自由に生かしあう場です。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
6月29日（水）	荷作り紐で買い物袋を作る （講師：藤岡和江さん）	環境情報サロン	18人	3人
7月6日（水）	荷作り紐で買い物袋を作る（2） （講師：藤岡和江さん）	環境情報サロン	10人	3人
11月17日（木）	エコな手作りクリスマスカード （講師：秋山公子さん）	環境情報サロン	6人	3人
合計	3回		34人	9人



### ウ 家庭での電力の使い方についての検証・考察

私たちが直面している電力逼迫に伴う課題や、家庭における電力の使用実態、日常生活における身近な電力の省エネについて検証・考察し、3月14日（水）の「くらしから提案！2011」で「省資源・循環など幅広い環境に配慮した暮らしの研究～家庭での電力の使い方について考える～」と題して発表しました。

### エ 千里文化センター「コラボ」 エコカフェでの学習会

7月12日（火）に「くらしに役立つヒント～この夏は省エネがかっこいい～」をテーマにエコライフカレンダー（環境家計簿）を使って「省エネの暮らし」について学習しました。共同参加の地球温暖化対策プロジェクトからは省エネ診断を行いました。参加者6人、スタッフ3人でした。

### （3）定例会

毎月1回、定例会を開催して、事業活動の立案・実施について検討決定するほか、行政関係部署の担当の参加を得て、幅広い情報の受発信・意見交換を行っています。

実施日：毎月第3土曜日 場所：環境情報サロン

月	4月17日	5月21日	6月18日	7月16日	8月20日	9月17日
参加者数	8人	8人	9人	7人	6人	7人
行政	5人	4人	3人	3人	3人	2人
月	10月15日	11月19日	12月17日	1月21日	2月18日	3月17日
参加者数	8人	6人	6人	5人	6人	5人
行政	3人	3人	3人	2人	3人	1人

#### 4. 自然部会

自然部会では発足当初から、豊中に残された貴重な自然を守ることを目標の最も重要な柱として活動してきました。そのために、多くの人に自然に親んでもらうことや、関心をもってもらふ事業を展開しています。全労済の助成を受けたことを基盤に、同じ志で活動をしている地域のグループと、繋がりを広げ活動、交流しています。

特記事項としては、市民参加による身近な生き物しらべとして「水鳥一斉調査・2012」と、自然部会員による身近に見られる野鳥の生態調べ「カラスのねぐら調査」を実施し、冊子も作成しました。また、「第2次豊中アジェンダ 21」が6月に策定され、行動提案 33「ツバメの巣や赤坂下池のツバメのねぐらを見守り、大切にしよう」、行動提案 35「キツネやタヌキなどの生息空間、希少植物の生息地を大切に、保全し続けよう」について、喫緊の課題としてパネルを作成、写真とともに環境展や、くらしかん1階の生活情報ひろばで展示しました。未来の森づくりは市との協働のもと、5月にドングリの苗木の植樹を実現し、2012年に植樹する苗木も協力市民の家庭で育っています。

##### (1) 自然観察会

ア 豊中市受託事業 参加者・スタッフの合計数 124人

実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
6月4日(土)	初夏の自然観察会「豊中の三等三角点を見よう」	新千里北町～島熊山	26人	0人	3人
7月16日(土)	千里川魚類調べと生き物観察会	千里川・箕輪小橋	23人	6人	2人
9月16日(金)	秋の鳴く虫観察会	服部緑地	14人	7人	3人
2月4日(土)	冬の野鳥観察会	服部緑地	32人	4人	4人
合計	4回		95人	17人	12人

イ その他

実施日	内容	場所	参加者数
5月27日(土)	ヒメボタル観察会(豊中市主催)	春日町	10人
8月1日(土)	近畿ツバメのねぐら調査・観察会(ツバメ5,000羽)	赤坂下池	16人
合計	2回		26人

##### (2) 連続自然学習講座

テーマ「豊中の自然を見つめ、みんなで考えよう」

1999年から毎年3回シリーズで開催し39回となりました。参加者・スタッフの合計数101人

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
11月27日(土)	カラスのねぐらとそれにかかわる生態について	和田岳さん(大阪市立自然史博物館研究員)	くらしかん	32人	2人
1月15日(土)	人間も自然も豊かであるためにはいかにすべきか	保田淑郎さん(貝塚市立自然遊学館顧問)	蛍池公民館	15人	2人
3月5日(土)	北摂の鳥	石井正春さん(大阪南港野鳥園園長)	中央公民館	48人	2人
合計	3回			95人	6人

### (3) 自然ふしぎ発見クラブ

次世代を担う子ども達とその保護者を対象に（5歳以上、小学3年生以下は保護者同伴）、子ども自身が自然のふしぎを発見して、自然の見方、触れ合い方を知ってもらう行事です。

参加者・スタッフの合計数 279人

実施日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッフ数
			子ども	おとな	
4月24日（日）	竹のふしぎ発見 竹の赤ちゃんこんにちは	千里中央公園	24人	25人	7人
7月30日（土）	セミの羽化を見てみませんか	千里中央公園	26人	27人	5人
9月23日（祝）	バッタを飛ばそう 1!2!3!	服部緑地	31人	21人	8人
11月27日（日）	野山の贈り物で自然工作リースを作ろう	千里中央公園	13人	12人	7人
1月22日（日）	竹切り体験と竹炭焼き実験!	千里中央公園	7人	6人	9人
2月26日（日）	冬芽観察と落ち葉を集めてホカホカ焼き芋	千里中央公園	24人	18人	9人
合計	6回		125人	109人	45人

※9月23日開催分は、「服部緑地の自然を育てる会」と「服部緑地指定管理グループ」の後援

### (4) 調査活動

#### ア 希少植物調査

自然部会として調査に取り組んで8年、それ以前の有志のものも含めると14年あまり経過し、「希少植物調査・とよなかーレッドデータブック豊中ー」（A4サイズ30ページ、カラー版豊中の植物付録付き、2008年3月発行）として完成させ、関係機関や団体へお知らせしました。2011年度は補充調査を行うとともに、冊子をイベントなどで展示・広報して豊中の自然保全に活用しました。

実施日	内容	場所	参加者数
10月6日（木）	補充調査	上新田	12人

#### イ 身近な生き物調べ「水鳥一斉調査・2012」

これまで2000年と2004年に調査をしてきましたが、今回は8年ぶりに調査しました。

調査日時 1月21日（土）9:30～12:00 調査協力者数 33人

調査範囲 豊中市全域の40池及び7河川

調査対象 水鳥及び水辺の鳥と陸鳥（カモ類、カワセミ、セキレイ、ヒヨドリ等）

まとめ冊子 A4版36ページ

（提出された写真のうち、池40枚、川10枚、鳥20枚をA3に拡大し、パネルを作成）

実施日	内容	場所	参加者数
1月14日（土）	調査員事前説明会	蛍池公民館	22人
1月21日（土）	水鳥一斉調査	豊中市内	33人
3月19日（土）	水鳥一斉調査報告会と交流会	くらしかん	26人
11月1日（火）～3月17日（土）	打合せ・集計・冊子作成（8回）	環境情報サロン他	69人
合計			150人

ウ 身近な生き物調べ「カラスのねぐら調査」

水鳥一斉調査を実施するにあたり、最も身近に見られる野鳥の生態も知ろうということで、この調査を実施しました。また、カラスは初めてのため、自然部会員のみで調査しました。

調査期間 2011年4月～2012年2月 調査対象 カラスのねぐら

まとめ冊子 A4版16ページ

実施日	内容	場所	参加者数
4月8日(金)～10月	予備調査(個人)	市内6地点	11人
4月27日(水)	予備調査(グループ)	服部緑地	7人
7月9日(土)	意見交換会(自然学習講座の講師の和田岳さんと)	くらしかん	15人
11月10日(木)	予備調査(グループ)	島熊山	3人
11月11日(金)	予備調査(グループ)	椋橋神社	2人
11月15日(火)	予備調査(グループ)	千里中央公園	16人
11月16日(水)	予備調査(グループ)	服部緑地	7人
11月19日(土)	予備調査(グループ)	猪名川自然林	4人
11月24日(木)	予備調査(グループ)	猪名川自然林	3人
11月28日(月)	本調査	春日神社	13人
2月7日(火)	本調査	服部緑地、猪名川自然林	12人
3月17日(土)	報告会(水鳥一斉調査とあわせて)	くらしかん	26人
11月1日(火)～3月14日(水)	打合せ・冊子作成会議(9回)	環境情報サロン他	75人
合計			194人

(5) 自然を守る活動

「継続は力なり」と言われますが、地道な参加で皆さんの山や草地の手入れの技量は年々上達しています。島熊山整備は島熊山緑地協議会の団体会員として、春日町竹林・草地整備はヒメボタル保護者会の構成団体として参加・活動しました。

実施日	内容	場所	参加者数
4月9日(土)、16日(土)、23日(土)、30日(土)	島熊山竹林整備(4回)	島熊山緑地	26人
5月7日(金)、18日(水)	島熊山竹林整備(2回)	島熊山緑地	15人
5月17日(火)	羽鷹池クズ刈り、草刈、清掃	羽鷹下池	11人
6月4日(木)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	2人
6月23日(木)	旧猪名川自然林整備	利倉西	10人
7月8日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	6人
9月9日(土)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	7人
9月26日(月)	ヒメボタル育成地整備	春日町	11人
10月8日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	7人
10月20日(木)	ヒメボタル育成地整備	春日町	6人
11月12日(土)	島熊山竹林整備、自然観察会	島熊山緑地	11人
11月24日(金)	ヒメボタル育成地整備	春日町	9人
11月28日(月)	羽鷹池クズ刈り、草刈、清掃	羽鷹下池	8人
12月10日(土)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	2人

12月19日(月)	赤坂下池ヨシ刈作業の見学	赤坂下池	11人
12月19日(月)	ヒメボタル育成地整備	春日町	13人
1月13日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	8人
1月19日(木)	ヒメボタル育成地整備	春日町	9人
2月11日(土)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	8人
2月24日(金)	ヒメボタル育成地整備	春日町	13人
合計	24回		193人

#### (6) 豊中の自然を保全・復元する活動団体ネットワーク(2007年全労済地域貢献助成事業の継続)

ネットワーク参加団体

NPO法人豊島北ビオトープクラブ、どんぐり山を守り育てる会、上野丘自治会まちづくり委員会、グリーンリーフクラブ、ヒメボタル保護者会、羽鷹池を守る会、島熊山緑地協議会、服部緑地の自然を育てる会、大阪大学キャンパスデザイン室、猪名川の自然と文化を守る会、島熊山の雑木林を守る会、服部緑地竹レンジャー、大阪府立刀根山高校環境整備委員会生物エコ部、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21(自然部会・竹炭プロジェクト)

実施日	内容	場所	主催団体	参加者数
5月12日(水)	ビオトープ整備と観察	上野丘第4公園	自然部会、上野丘自治会	4人
5月17日(火)	ビオトープ観察と周辺整備	上野丘第4公園	自然部会、上野丘自治会まちづくり委員会	10人
10月6日(木)	保護樹木・大木・古木を訪ねて「上新田天神社、徳林院の森へ」	上新田天神社	自然部会	30人
10月15日(土)	思い出自然館「とよなか市民環境会議創設から15年 豊中の自然について」(講師 山口壽さん)	くらしかん	自然部会	14人
11月28日(月)	ビオトープ整備	上野丘第4公園	自然部会、上野丘自治会まちづくり委員会	10人
適時	ニュースレターの送付、相互の活動状況や行政の環境情報の提供		自然部会	
合計	5回			68人

#### (7) 未来の森づくり

2008年度から実施している、豊中産の樹木(苗)でみどりを創出する事業ですが、環境展などで竹ポットに植え付けを呼びかけ、自宅で苗を育て、1年半後に持ち寄り植え付けます。豊中市の協力のもと市民力による生物多様性の豊かな森づくりは重点事業であり、拡大していきたいと思っております。

環境展での植え付け参加者	自宅で苗を育てる	千里中央公園での植樹本数/参加者
2008年12月 60人	→ 約1年半 →	2010年5月22日(土) 72本/40人
2009年12月 58人	→ 約1年半 →	2011年5月21日(土) 50本/21人
2010年12月 54人	→ 約1年半 →	
2011年12月 53人	→ 約1年半 →	

※グリーンウェイブ2011(環境省など提唱)の活動として登録しました

グリーンウェイブのホームページに取り組みの様子(写真)が掲載されました

## (8) その他

実施日	内容	場所	スタッフ数
4月29日(祝)	スプリングフェスタ工作	花とみどりの相談所	4人
5月20日(金)	箕輪小学校学習支援	千里川	2人
6月11日(土)	島熊山緑地協議会総会	西丘小学校	5人
7月1日(金)～ 29日(金)	パネル展「豊中の自然」	くらしかん	6人
7月27日(水)	夏休み工作教室	くらしかん	9人
7月29日(金)	野生生物実験園手入れ	環境情報サロン	3人
8月6日(土)、 7日(日)	豊中まつり(自然工作)	環境情報サロン	11人
10月30日(土)	くらしかん祭り(自然工作)	くらしかん	11人
12月4日(土)	千里西町ふれあいフェア(自然工作)	新千里西町	2人
12月9日(金) 10日(土)	とよなか市民環境展(展示、自然工作)	豊島体育館	29人
12月19日(月)	野生生物実験園手入れ	環境情報サロン	1人
1月5日(木)～ 31日(火)	春の七草展(実物とパネル展示) 第2次アジェンダ21の紹介、写真展示	くらしかん	6人
合計	12回		89人

## (9) 自然調査データ集積事業

「生物多様性豊中戦略」策定をめざして、「新修豊中市史(自然編)」、「身近な環境しらべ報告書」(豊中市発行)、身近な生き物しらべ報告書(自然部会と市民が調査した2003～2012年のまとめ冊子)、「希少植物調査ーレッドデータブック豊中ー」、「タンポポ調査豊中」などのデータを集積する事業を2011年度から開始しました。なお、2011年度は「豊中のキツネ・タヌキ生息地マップ」を作成しました。

## (10) 定例会・研修会

### ア 定例会

毎月1回定例部会を開催、年間事業活動に合わせ、企画担当者が提出した事業計画案をもとに検討・決定・実行しています。活動情報を部会員で共有し、活動をより活発化するため担当者報告・参加者の感想なども欠かさず報告しています。世界、日本、地域の自然に関する幅広い情報の提供や意見交換を行い、特に地域の緊急情報が寄せられたときは、すぐ行動し、豊中の自然がなくならないように力をあわせて活動しています。

実施日・時間	場所	参加者数
毎月第2月曜日 18:00～20:50(4月～3月) 祝日と重なる日は翌日	くらしかん	192人

### イ 研修会・見学会

実施日	内容	場所	参加者数
6月4日(土)	猪名川のヒメボタル観察会	猪名川河川敷(軍行橋西方)	10人
11月21日(月)	六甲森林植物園見学	神戸市	12人

## 5. 事業部会

2011年度の事業部会の活動は、豊中商工会議所や豊中市減量推進課との協働の取り組みが充実し、市民・事業者・行政の協働体制が少し進展しました。また、環境の取り組みを市内の事業所に広めるために、省エネや廃棄物の相談に取り組んでみようということで、とよなか産業フェアに相談コーナーを出展しました。

### (1) 機密書類リサイクル

2010年10月から豊中商工会議所とも連携した取り組みになり、参加事業所も少しずつ増加しています。私立幼稚園連合会で集めてもらっている私立幼稚園の参加園も順調に増加しており、定着してきていると言えそうです。なお、幼稚園連合会で集めたものはアジェンダで運搬・搬入を行っています。

収集場所 豊中市伊丹市クリーンランド

処理業者 西日本衛材(株)(兵庫県たつの市)

証明書発行 計量証明書・溶解証明書

協力 豊中商工会議所、豊中市減量推進課、豊中市伊丹市クリーンランド

実施日	搬入量	参加者	スタッフ数
4月25日(月)	7,345 kg	23件(事業者16社・幼稚園6園・個人1人)	4人
10月18日(火)	6,139 kg	24件(事業者17社・幼稚園5園・個人2人)	4人
合計	13,484 kg	47件(事業者33社・幼稚園11園・個人3人)	8人

### (2) 見学会

実施日	内容・場所	参加者数	スタッフ数
9月9日(金)	リコーライブオフィス見学会 見学先：LiveOffice 谷町(リコージャパン(株) 谷町事業所) 環境負荷が低く、かつ業務効率が高いオフィス作りを目指して、ワークスタイルの変革に取り組んでいる事業所を見学	8人	2人
11月16日(水)	廃棄物燃料化工場見学と近來技術 見学先：リマテック(株) 大阪補助燃料製造工場(岸和田市) 廃棄物を石炭代替燃料に再資源化し、主に流動体でセメント工場や化学工場の燃料としている工場を見学	13人	2人
1月27日(金)	「津波・高潮ステーション」の見学と「治水、洪水・浸水対策等」の講演 見学先：大阪府津波・高潮ステーション(大阪市) 施設見学と大阪府池田土木事務所による治水対策などの講演	21人	2人
合計	3回	42人	6人

### (3) 学習会・説明会

実施日	内容・場所	参加者数	スタッフ数
2月21日(火)	経営改善につながる、これからのEMS 場所 リサイクル交流センター 講師 山本武さん(NPO 法人イービーイング主任研究員) 中西清さん(NTN テクニカルサービス(株) 大阪事業所)	12人	2人

#### (4) 共催事業

実施日	内容・場所	参加事業者数	スタッフ数
7月14日(木)	エコアクション21(EA21)説明会 主催 エコアクション21 地域事務局大阪 場所 労働会館 備考 説明会の中で、機密書類リサイクル事業を紹介	3社	アジェンダ 2人 その他 7人
10月6日(木) 11月2日(水) 12月1日(木)	エコアクション21スクール (エコアクション21の認証取得に向けての連続スクール) 場所 環境情報サロン	1社	その他 1人

#### (5) とよなか産業フェア

2012年1月21日(土)に中央公民館で開催された「とよなか産業フェア」(主催:豊中市)に相談コーナーを出展し、来場者に対して省エネや廃棄物に関する相談対応を行いました。

#### (6) 定例会・事業打合せ

実施日	内容	場所	参加者数
6月7日(月)	事業打合せ(上半期の活動)	環境情報サロン	4人
7月5日(火)	定例会(2011年度の計画、省エネ学習会)	環境情報サロン	11人
11月9日(水)	事業打合せ(下半期の活動)	環境情報サロン	5人
3月21日(火)	事業打合せ(2012年度の計画)	環境情報サロン	4人
合計	4回		24人



## 6. 交通部会

### (1) 交通環境学習

豊中自動車教習所と一緒に、豊中市・豊中警察署・豊中南警察署と協力して、幼稚園・中学校・高校などで生徒や保護者を対象に、自転車シミュレーターなどを使った交通環境学習を行いました。

実施日	内容	対象	場所	参加者数
4月27日(水)	シミュレーター講習会	自転車通学1年生	梅花高校	80人
5月11日(水)	シミュレーター体験	春のワンデースクール 受講者	豊中自動車教習所	20人
6月16日(木)	シミュレーター講習会	保護者	ゆたか幼稚園	40人
9月25日(日)	シミュレーター体験	わくわくフェスタの来 場者	豊中自動車教習所	50人
10月24日(月)	シミュレーター講習会	保護者	のばたけ幼稚園	50人
11月11日(金)	座学	シルバー人材センター の登録者	シルバー人材セン ター	40人
1月13日(金)	シミュレーター講習会	1年生全員	第一中学校	200人
合計	7回			480人

### (2) 自転車バランス王座決定戦

子どもなどを対象に、「自転車バランス王座決定戦」を市内のさまざまな行事で開催しました。このイベントを通して、自転車に乗った際のバランス感覚を養うとともに、自転車利用の促進や利用のマナーを伝えました。

実施日	イベント名	場所	内容	参加者数
9月25日(日)	とよなかわくわくフェスタ	豊中自動車教習所	競技会	40人
10月10日(祝)	体育の日記念事業	青年の家いぶき	競技会	40人
10月15日(土)	とよっぴー祭り	緑と食品のリサイク ルプラザ	タイムアタック	80人
10月23日(日)	クリーンランドフェスティ バル	豊中市伊丹市クリー ンランド	タイムアタック	100人
11月20日(日)	大阪大学医学部中之島祭	大阪大学吹田キャン パス	競技会	60人
12月10日(土)	とよなか市民環境展	豊島体育館	タイムアタック	60人
合計	6回			380人

## 7. 竹炭プロジェクト

1999年以降、自然環境の保全を目的として、市有地の竹林間伐を行っています。

新千里北町は竹切りのみ行っていますが、傾斜地が多く、また、2011年度は雨で中止が3回もあり、予定よりも少し遅れています。千里中央公園では竹林間伐で出た竹材を使って、竹炭焼きを2011年度は10回実施しました。豊中産の竹炭製品として市内の各種イベントで頒布していますが、多くの方に利用していただいています。その他、公園の竹林内の土砂流出防止のため、土留め作業や側溝の土砂払い出し・落葉の処理なども随時実施しています。

また、2011年度はセブンイレブンみどりの基金の助成金を受けました。

### (1) 竹の間伐作業（新千里北町1丁目～2丁目、千里中央公園）

新千里北町では竹の間伐を、千里中央公園では現在は竹林整備を主としていますが、竹の間伐も随時様子を見ながら行っています。

実施日	内容	メンバー	体験者数	切った竹概数	若竹切り概数	備考
4月7日	竹の間伐（北町）	4人	2人	55本		竹林整備と班分け
4月27日	竹の間伐（千中）	8人		25本	180本	
5月9日	竹の間伐（北町）	15人		95本	200本	
5月25日	竹の間伐（千中）	6人		20本	150本	竹林整備と班分け
6月6日	竹の間伐（北町）	15人	1人	30本	250本	
6月28日	竹の間伐（千中）	8人		50本		竹林整備と班分け
7月28日	竹の間伐（千中）	8人		30本	80本	
8月9日	竹の間伐（北町）	8人	1人	60本		
8月18日	竹の間伐（千中）	9人		70本		
8月29日	竹の間伐（千中）	8人	2人	70本		
9月7日	竹の間伐（北町）	13人	1人	120本		
9月27日	竹の間伐（千中）	11人		90本		
10月6日	竹の間伐（北町）	9人	2人	95本		
10月18日	竹の間伐（千中）	8人		95本		
10月26日	竹の間伐（千中）	11人		80本		
11月7日	竹の間伐（千中）	7人		35本		
11月17日	竹の間伐（北町）	9人	1人	90本		
12月7日	竹の間伐（北町）	14人	2人	110本		
1月10日	竹の間伐（北町）	17人		50本		道端の竹積み直し
1月25日	竹の間伐（北町）	12人		110本		
2月22日	竹の間伐（千中）	8人		70本		
3月7日	竹の間伐（北町）	17人		105本		千里中央公園へ竹運搬
3月16日	竹の間伐（千中）	5人	1人	50本		西側斜面の竹切り
合計	23回	230人	13人	1,605本	860本	

※2011年3月31日（2010年度末）までの通算13,080本（若竹除く）

2012年3月31日（2011年度末）までの通算14,685本（若竹除く）

## (2) 竹炭焼き (千里中央公園 野外炊さん場)

間伐した竹の中から竹炭焼きに適当なものを選んで活用しています。できるだけ多くの竹材が窯に入るよう、縦に四つ割りにし、節取りを行ったうえで詰め込みをしています。

実施日	内容	メンバー	体験者数	備考
4月18日	竹炭焼き	14人	1人	2窯、午後雨シート張る
4月19日	窯出し	9人		竹林整備と班分け
5月18日	竹炭焼き	15人	7人	2窯、体験者は竹切り体験も実施
5月19日	窯出し	6人	4人	竹林整備と班分け
6月14日	竹炭焼き	13人	1人	2窯
6月15日	窯出し	6人	1人	製品作りと班分け
8月3日	竹炭焼き	10人	1人	2窯、フィールドに草の移植
8月4日	窯出し	8人		豊中まつりの工作準備
9月15日	竹炭焼き	8人		3窯、炊さん場隣の笹刈り
9月16日	窯出し	8人		
10月18日	竹炭焼き	5人	1人	2窯、竹切りと班分け
10月19日	窯出し	7人	1人	竹林整備と班分け
11月7日	竹炭焼き	13人		2窯、竹切りと班分け
11月8日	窯出し	13人	2人	
1月17日	竹炭焼き	5人	3人	2窯、竹林整備と班分け、小缶で竹炭焼き実験
1月18日	窯出し	14人	2人	
2月15日	竹炭焼き	6人		2窯、竹林整備と班分け
2月16日	窯出し	5人		竹林整備と班分け
3月16日	竹炭焼き	4人	2人	2窯、竹切りと班分け
3月18日	窯出し	6人	1人	17日が雨のため、18日に実施
合計	10回	175人	27人	

## (3) 竹林整備 (千里中央公園の東側竹林など)

過去の大雨などで東側竹林内の土砂が広く流されて、木の根がむき出しになっている場所があります。そこで遊ぶ子どもたちもおり、なおさら荒れてしまっています。杭を打ち、板を張って、土留め作業などの補修を行っています。

実施日	内容	メンバー	体験者数
4月7日	新千里北町の尾根筋整備 (観察ルート of 枝払い)	7人	2人
4月19日	炊さん場側溝の清掃と土砂上げ、笹刈り、有刺鉄線補修	6人	
4月27日	炊さん場側溝の土砂上げと竹杭作り	6人	
5月19日	東側竹林の竹杭打ち	5人	
5月25日	東側竹林の土留め板張り	6人	
6月28日	東側竹林の土留め板張り、炊さん場側溝の土砂払い	5人	
10月19日	腐った土留め板の交換など	5人	
11月25日	落葉集めなど	13人	1人
12月15日	東側竹林の土留め作業、炊さん場の落葉掃除、新千里北町から竹搬入	15人	2人
12月21日	炊さん場の落葉掃除 (山に戻す)	14人	

1月17日	東側の土留め作業、炊さん場の落葉掃除	8人	
2月15日	東側林内の裸地部分に竹杭打ち、落葉の投入	7人	
2月16日	東側林内の裸地部分に落葉の投入、側溝の会所の土砂払い	9人	
2月22日	すべり台近くの土留め作業、東側側溝の落葉上げ	9人	
3月21日	西側斜面の竹切りと積み直し	12人	
合計	15回	127人	5人

#### (4) 製品作り (千里中央公園)

竹炭をカットし、すすを払い、袋詰めして製品化します。消臭や水の浄化に利用できます。また、粉碎して園芸用としても利用いただいています。

実施日	内容	メンバー	備考
6月15日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭作り	7人	
7月7日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭作り	8人	竹切りが雨で製品作り
10月11日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭作り	7人	
11月2日	粉碎炭作り	4人	
2月6日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭作り	9人	竹切りが雨で製品作り
2月29日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭作り	11人	竹切りが雨で製品作り
合計	6回	46人	

#### (5) イベント参加

豊中市主催のイベント等に参加して、竹炭製品の頒布と自然工作を行っています。工作の材料は、千里中央公園の間伐で出た竹材や、サクラの小枝などを利用しています。

実施日	イベント名	場所	メンバー	頒布参加者	工作参加者	備考
4月13日	地産地消イベント	くらしかん	3人	19人		
4月29日	スプリングフェスタ、メーデー	豊島公園	8人	50人	25人	筆立てなど
5月11日	地産地消イベント	くらしかん	3人	18人		
6月8日	地産地消イベント	くらしかん	3人	25人		
7月13日	地産地消イベント	くらしかん	3人	28人		
7月28日	地産地消野菜市	さわ病院	4人	14人		
8月6日	豊中まつり	環境情報サロン	4人	45人	19人	竹炭風鈴
8月7日			6人	40人	31人	
8月10日	地産地消イベント	くらしかん	3人	18人		
8月25日	地産地消野菜市	さわ病院	3人	15人		
9月14日	地産地消イベント	くらしかん	1人	20人		
9月22日	地産地消野菜市	さわ病院	1人	15人		
9月25日	わくわくフェスタ	豊中教習所	3人	50人		
10月12日	地産地消イベント	くらしかん	3人	22人		
10月15日	とよっぴー祭り	原田苗圃	6人	50人	160人	モックン、道具遊び
10月23日	クリーンランドフェスティバル	クリーンランド	7人	35人	28人	パケットンボ

10月27日	地産地消野菜市	さわ病院	3人	27人		
10月29日	くらしかん祭り	くらしかん	6人	60人	35人	貯金箱など
11月3日	東豊台小バザール	東豊台小	5人	52人	228人	ブンブン、道具遊び
11月9日	地産地消イベント	くらしかん	3人	16人		
11月13日	ロータス祭り	さわ病院	4人	80人		
11月19日	農業祭	豊島公園	7人	27人		
11月24日	地産地消野菜市	さわ病院	3人	22人		
12月3日	ふれあいフェア	新千里西町	5人	30人	20人	小枝えんぴつなど
12月9日	環境展	豊島体育館	9人	25人	5人	木の実おもちゃ、竹切り
12月10日			7人	60人	15人	
12月14日	地産地消イベント	くらしかん	3人	22人		
12月22日	地産地消野菜市	さわ病院	2人	17人		
1月11日	地産地消イベント	くらしかん	2人	25人		
1月26日	地産地消野菜市	さわ病院	2人	10人		
2月8日	地産地消イベント	くらしかん	3人	15人		
2月23日	地産地消野菜市	さわ病院	3人	7人		
3月14日	地産地消イベント	くらしかん	2人	14人		
3月22日	地産地消野菜市	さわ病院	2人	10人		
合計	34回		132人	983人	566人	

頒布：竹炭製品 802 個、竹酢液 154 個、その他工作品

工作は自然部会と合同で行っています。メンバーは竹炭プロジェクトのみの人数

#### (6) 会議など

実施日	内容	場所	メンバー	備考
4月28日	2011年度活動報告（竹炭Pの総会）	千里中央公園	14人	市職員1人参加
6月9日	野菜市の新規参加を検討	千里中央公園	4人	
6月28日	野菜市の新規参加を検討、夏休みの工作検討	千里中央公園	5人	
9月17日	自主管理協定の意見交換会	市役所	3人	竹炭の活動を発表
11月7日	11～12月イベントの検討	千里中央公園	5人	
2月6日	2012年度計画の検討	千里中央公園	4人	
3月2日	2012年度計画の検討	環境情報サロン	4人	
3月21日	活動詳細の打合せ	千里中央公園	4人	
3月29日	活動詳細の打合せ	千里中央公園	3人	
合計	9回		46人	

### (7) 協力活動

自然部会の行事のうち、千里中央公園で行われるものを中心に協力しています。

実施日	協力した内容	場所	メンバー	備考
4月24日	竹林と地下茎の観察	千里中央公園	8人	自然ふしぎ発見クラブ
7月27日	竹炭風鈴作り	くらしかん	8人	夏休み自然工作
7月30日	セミの羽化観察	千里中央公園	4人	自然ふしぎ発見クラブ
9月16日	秋の泣く虫観察	服部緑地	3人	自然観察会
11月27日	リース作り	千里中央公園	5人	自然ふしぎ発見クラブ
1月22日	小缶で竹炭焼き実験	千里中央公園	6人	自然ふしぎ発見クラブ
2月26日	冬芽観察と落葉で焼き芋	千里中央公園	6人	自然ふしぎ発見クラブ
合計	7回		40人	

### (8) ホームページの更新 (2カ月に1回更新)

当法人ホームページ内の竹炭プロジェクトのページで、竹間伐作業、竹炭焼き・窯出し、竹林整備、頒布活動、自然工作などを目で見てわかりやすいように、写真を多く取り入れて更新しています。

### (9) 清掃活動 (年間24回)

毎月2回、千里中央公園の竹林内と林縁を、1回につき6~7人で30分程度のごみ拾いを行っています。また、秋から冬にかけて、野外炊さん場の落葉の掃除を行い、落葉を林内に還しています。

## 8. 企画屋本舗

企画屋本舗では、①“豊中の街”を環境・文化・歴史等いろいろの角度から見直し、わが街を再発見する取り組みを続けています。まず街を知る、そして、その中で街の魅力を再認識し、保全、保存のあり方も考えようとする企画です。環境問題をだれもが自分達の問題と捉えるために、企画内容を参加しやすい、ハードルの低いものにしていきます。また、②幼少時からの環境教育・環境学習が重要と考え、親（保護者）と子どもと一緒に工場見学やワークショップなどをおこない、体感や体験を通じて環境問題を考える企画をしています。

2011年度もメンバーの8割が現役の社会人で構成されていました。従って、活動は参加しやすい平日の夜に設定しており、それぞれ立場の違うメンバーだからこそその発想や情報を活用した企画が可能になっています。

### (1) わがまちとよなか再発見 ちょっといい豊中見つけに行こかウォーク

クリーンランドから猪名川公園方面のウォークを計画し、12月18日（日）に下見を行いました。開催には至りませんでした。このコースのウォークは、2012年度に開催します。

### (2) 環境びっくり箱 親子で楽しくエコツアー

大阪国際空港内にある全日空整備工場の見学会を実施しました。大変人気のある見学先のため、日程調整の関係で夏休み最後の日となりましたが、キャンセル待ちの出るほどの人気でした。工場での体験は新鮮かつ魅力的だったようで、食い入るように説明を聴く親子の姿がありました。

エコツアーは毎年、夏休みの自由研究に役立つことも頭に入れた企画内容を考えていますが、子どもたちの興味や関心、こちらの伝えたいこと、参加者の知りたいことをどう一致させるか頭を悩ませています。

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
8月31日（水）	「全日空の整備工場見学会」 コース：市役所集合⇒全日空整備の工場見学⇒空港 周辺の環境関連施設をバスから見学⇒市役 所解散 協力者：全日空整備（株）	22人 （大人10人、 子ども12人）	7人

### (3) ちょっといい豊中見つけに行こかウォーク、親子で楽しむエコツアー「10年の軌跡」作成

2001年度から始めたウォークと、2005年度から始めたエコツアーについて、軌跡を豊中市の地図に落とし込み、企画の目的が達成されているかを検討しました。北は千里中央から南は神崎川まで、西は伊丹空港から東は小曾根あたりまで出かけ、豊中の歴史や文化、環境などの特徴を学ぶとともに、多くの方との出会いがあったことを再確認できました。なお、これらの検討結果はパネルにまとめました。

### (4) 定例会 曜日・時間：水曜日の18:00～20:00 場所：環境情報サロン

実施日	5月16日	6月22日	7月6日	8月10日	9月14日
出席者	7人	7人	7人	5人	2人
実施日	11月2日	1月11日	2月15日	3月21日	
出席者	6人	5人	5人	3人	

## 9. 花と緑のネットワークとよなか

2011 年度も多様な活動を推進しました。従来の活動に加え新たに、①若者による農業分野チャレンジ事業（農業就労とスキルアップ講座）、②就業体験的ボランティア事業、③農園楽（「とよっぴー農園」作業支援と栽培ノウハウを学ぶ活動）、④プロボノ（現役企業人が自らの仕事を通じて磨いたスキルを市民活動等に活かす活動）によるホームページのリニューアルなどが活動として生じ、いわば超多忙な1年間でした。

従来活動でも学校菜園支援とそれに連動した教室等での環境学習や体験学習の対象校が14校に及び、学校との連携がより一層深まりました。「とよっぴー」の頒布・配布では、市民農園の契約更新の際に宣伝に力を入れて「とよっぴー」の活用者を増やす努力を重ねています。「とよっぴー」を使った地場産野菜の栽培と活動では、農家数が当初より増え地産地消活動も定着して推移しています。堆肥化講習会と活動・活用助成制度も丁寧な講習を行い、ダンボール堆肥に取り組む市民を増やす努力を続けています。「とよっぴー農園」での作物栽培・収穫行事は相変わらず人気を博し、多くの人々が参加しています。花いっぱい運動も各団体が地域で取り組んでいます。

これらの活動を支えるためのマネジメント確立や事務処理の体制強化に苦勞していますが、新しい事業に連動して機能の拡充を図り続けています。

### (1) 定例会 曜日：毎月第2火曜日 場所：環境情報サロン

定例会は活動の点検と参加の確認並びに諸課題の合意の場として定着しています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出席者	22人	21人	23人	21人	21人	18人	20人	16人	21人	21人	19人	19人

### (2) 「とよっぴー」の製造量と利活用の実績

2012年3月末で堆肥化事業の開始から満10年となりました。年次毎の購入者数は多少変動していますが、人気定着しています。製造量で年8トン減少し、有償頒布の比率も70%を切りました。月2回の袋詰め作業と頒布事業には78回435人が参加し、問題なく処理することができました。

また、豊中市伊丹市クリーンランドのスリーR・センターの開設に伴う剪定枝の活用については、試行実験を行って、その結果を検証しています。現在の剪定枝より細粒化が期待される一方で、製品の品質が保持できるか今後の確認が必要となっています。

活用用途	無料配布					有償頒布	製造量
	市事業所	協力農家 食の循環	花いっぱい 運動	イベント 配布	堆肥化講 習会		
配布・頒布量	9,700kg	19,410kg	2,640kg	4,532.5kg	622.5kg	83,862kg	120,767kg
割合	8.0%	16.7%	2.2%	3.8%	0.5%	69.4%	—

### (3) 生ごみリサイクルに関する講習会の開催及び堆肥化活動支援

実施日	場所	主な内容	参加者数	スタッフ数
4月9日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	6人	3人
4月27日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	1人	1人
5月14日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	10人	3人
5月25日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
6月11日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	5人	3人
6月22日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	3人	1人
7月9日(土)	くらしかん	堆肥化講習会、野菜作り講演会	19人	4人



8月24日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
9月10日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	3人	3人
9月28日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
10月8日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	8人	2人
10月26日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	1人	1人
11月12日(土)	くらしかん	堆肥化講習会、野菜作り講演会	6人	4人
11月23日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
11月29日(火)	リサイクルプラザ	堆肥化講習会	93人	1人
1月14日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	7人	2人
1月28日(土)	花とみどりの相談所	堆肥化講習会	11人	1人
2月11日(土)	くらしかん	堆肥化講習会、野菜作り講演会	13人	4人
2月22日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
3月6日(火)	市役所ロビー	堆肥化講習会	8人	1人
3月6日(火)	市役所ロビー	堆肥化講習会	13人	2人
3月8日(木)	市役所ロビー	堆肥化講習会	7人	1人
3月10日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	16人	3人
3月28日(水)	リサイクルプラザ	堆肥化相談	2人	1人
合計	24回		232人	46人

#### (4) 生ごみ堆肥化活動・活用助成制度の実績

ダンボール堆肥を講習している関係もあり、助成のほとんどがダンボール堆肥です。

助成対象	生ごみ堆肥化活動助成制度			堆肥化活用助成制度
	コンポスト	密封バケツ	ダンボール堆肥資材	電動・手動式堆肥化装置
件数	1件	1件	22件	4件

#### (5) 緑と食品のリサイクルプラザの見学対応

2010年度と比較して6回増加しました。近年は「とよっぴー農園」の農体験と連動した施設見学が増加していましたが、2011年度は施設単独の見学が12回もあり、従前と少し違う結果となりました。

実施日	団体	内容	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
4月14日(木)	ふるさと雇用の講座講師	施設見学	2人	0人	2人
4月16日(土)	畑の楽校 前期②	施設見学とわけぎ収穫他	19人	23人	2人
4月20日(水)	ふるさと雇用の講座講師	施設見学	1人	0人	1人
4月22日(金)	就業支援ボランティア他	施設見学と袋詰め	8人	0人	1人
4月28日(木)	とよっぴー農園楽参加者	施設見学と農作業	10人	0人	3人
5月20日(金)	M&Cフレンドサークル	施設見学とさつまいも植付け	26人	26人	2人
5月21日(土)	ボーイスカウト第17団	施設見学とさつまいも植付け	8人	10人	2人
5月25日(水)	いばらぎエコ連絡会	施設見学	6人	0人	2人
6月3日(金)	少路小学校4年生担任	施設見学	1人	0人	1人
6月15日(水)	小曾根小学校4年生	施設見学とジャガイモ収穫	4人	68人	2人
7月23日(土)	畑の楽校 後期②	施設見学と稲の観察	14人	10人	3人
7月30日(土)	野菜の収穫祭	施設見学と野菜の収穫	22人	23人	2人

8月2日(火)	インターンシップ	施設見学	1人	0人	1人
8月16日(火)	インターンシップ	施設見学	2人	0人	1人
8月24日(水)	インターンシップ	施設見学	2人	0人	1人
9月6日(火)	豊島西小学校4年生	施設見学と大根・人参種まき	9人	81人	2人
9月30日(金)	ふるさと雇用研修生	施設見学	4人	0人	2人
10月3日(月)	東豊台小 PTA (もぐもぐクラブ)	施設見学とさつまいも収穫	7人	15人	3人
10月15日(土)	泉佐野公園緑化協会	施設見学	3人	0人	2人
10月15日(土)	パナソニック OB	施設見学	12人	0人	2人
10月15日(土)	とよっぴー祭り参加者	施設見学	4人	2人	2人
10月20日(木)	さわ病院	施設見学とさつまいも収穫	17人	0人	2人
10月25日(火)	ほっぺ事業	施設見学とさつまいも収穫	41人	47人	2人
10月27日(木)	CAL (14 中生)	施設見学と袋詰め体験	0人	3人	2人
11月5日(土)	ESD セミナー	施設見学とお芋掘り	22人	29人	2人
11月26日(土)	食育スタディーデー	施設見学と野菜の収穫	32人	32人	2人
1月27日(金)	大和市職員	施設見学	2人	0人	2人
2月14日(火)	吹田市資源リサイクルセンター	施設見学	16人	0人	1人
3月10日(土)	畑の楽校 前期①	施設見学と野菜の収穫	14人	21人	6人
合計	29回		309人	390人	58人
			699人		

#### (6) 農体験及び学校等の菜園支援と環境学習

2011年度の活動回数は64回で、2010年度を大きく上回って過去最大の回数となりました。参加者数は全体で4,035人に及び、4千人の大台は3年ぶりでした。

実施日	団体	内容	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
4月16日(水)	畑の楽校前期②	わけぎ収穫ほか	19人	23人	5人
5月6日(金)	西丘小5年生	食のリサイクルとお米 講座	2人	76人	2人
5月12日(木)	泉丘小5年生	食のリサイクルとお米 講座	5人	160人	2人
5月13日(金)	庄内西小5年生	食のリサイクルとお米 講座	2人	53人	2人
5月19日(木)	千成小5年生	食のリサイクルとお米 講座	4人	84人	2人
5月20日(金)	M&C フレンドサークル	サツマイモの植付け	26人	26人	2人
5月20日(金)	西丘小5年生	田植えの体験	4人	76人	1人
5月21日(土)	畑の楽校前期③	苗の植付け・スナップエンドウ収穫・試食	18人	18人	6人
5月21日(土)	ボーイスカウト第17団	苗の植付け・スナップエンドウ収穫・試食	8人	10人	6人
5月23日(月)	大池小2年生	食のリサイクルと野菜 講座	3人	89人	2人
5月24日(火)	豊島北小4年生	食のリサイクルと野菜 講座	3人	85人	2人
5月25日(水)	豊島北小4年生	ゴーヤとヘチマの講座と定植体験	3人	84人	1人

5月26日(木)	南丘小5年生	田植えの体験	1人	34人	1人
5月27日(金)	小曾根小5年生	学習講座	3人	74人	2人
5月30日(月)	南丘小5年生	学習講座	1人	34人	2人
6月2日(木)	千成小5年生	田植えの体験	3人	84人	1人
6月3日(金)	豊島西小4年生	学習講座	3人	78人	1人
6月7日(火)	北丘小5年生	学習講座	1人	39人	2人
6月9日(木)	東丘小5年生	学習講座	2人	46人	2人
6月11日(土)	畑の楽校後期①	田植え・玉葱収穫・試食ほか	14人	17人	9人
6月15日(水)	小曾根小4年生	じゃがいも収穫体験	4人	68人	6人
6月16日(木)	庄内西小5年生	田植えの体験	2人	53人	1人
6月17日(金)	東丘小5年生	田植えの体験	2人	46人	1人
6月17日(金)	豊島北小4年生	じゃがいも収穫体験	3人	86人	5人
6月18日(土)	畑の楽校前期④	キュウリ・玉ねぎ収穫	13人	12人	6人
6月24日(金)	小曾根小5年生	豊中産玉葱を当日給食に使用の旨説明	3人	74人	2人
7月2日(土)	畑の楽校前期⑤	じゃがいも収穫体験・ナス手入れ・試食	18人	17人	8人
7月23日(土)	畑の楽校後期②	稲の観察と草取り・夏野菜の試食	14人	10人	4人
7月30日(土)	野菜の収穫祭	野菜の収穫・スイカ試食	22人	23人	9人
9月6日(火)	豊島西小4年生	大根・人参の種まき	9人	81人	6人
9月6日(火)	小曾根小2年生	大根の講座と栽培体験	3人	74人	1人
9月8日(木)	野田小5年生	給食の残りのリサイクルとお米と野菜の話	2人	78人	2人
9月9日(金)	桜塚小2年生	食のリサイクルと野菜 講座	3人	103人	2人
9月12日(月)	桜井谷小2年生	大根の講座と栽培体験	3人	103人	1人
9月30日(金)	M&C フレンド サークル	サツマイモの収穫	32人	30人	3人
10月1日(土)	ボーイスカウト 第17団	さつまいも掘り	9人	7人	5人
10月3日(月)	東豊中もぐもぐ	さつまいも掘り	7人	15人	5人
10月7日(金)	西丘小5年生	稲刈り体験	3人	76人	1人
10月11日(火)	東丘小4年生	稲刈り体験	3人	46人	1人
10月13日(木)	南丘小5年生	稲刈り体験	1人	36人	1人
10月17日(月)	庄内西小5年生	稲刈り体験	2人	53人	1人
10月18日(火)	千成小5年生	稲刈り体験	3人	84人	1人
10月19日(水)	南丘小5年生	脱穀・籾摺・精米	1人	36人	1人
10月20日(木)	さわ病院デイサ ービス	さつまいも掘り	17人	0人	3人
10月21日(金)	東丘小5年生	脱穀・籾摺・精米	2人	46人	1人
10月21日(金)	西丘小5年生	脱穀・籾摺・精米	2人	76人	1人
10月22日(土)	畑の楽校後期④	稲刈りとさつまいも掘り	9人	9人	8人
10月24日(月)	千成小5年生	脱穀・籾摺・精米	3人	84人	1人
10月24日(月)	大池小5年生	お米の話と脱穀・籾摺・精米	4人	130人	1人
10月25日(火)	ほっぺ事業	さつまいも掘り	41人	47人	5人

11月4日(金)	豊島北小4年生	服部緑地食育観察会	4人	84人	1人
11月5日(土)	ESDセミナー	さつまいも掘り	22人	29人	5人
11月18日(金)	庄内西小5年生	脱穀・籾摺り・精米	2人	53人	1人
11月19日(土)	畑の楽校後期⑤	大根・人参の収穫と試食	9人	10人	4人
11月21日(月)	東丘小5年生	校内田んぼのお米を使った調理実習	1人	23人	2人
11月22日(火)	泉丘小3年生	農業の話	4人	145人	1人
11月26日(土)	食育スタディー	白菜・カブ・大根・人参ほかの収穫	32人	32人	15人
11月29日(火)	西丘小5年生	おにぎり・味噌汁調理	1人	33人	1人
11月29日(火)	豊島西小4年生	大根・人参の収穫	9人	84人	5人
12月1日(木)	東豊台小2年生	野菜の講演	3人	92人	1人
12月2日(金)	南丘小5年生	校内田んぼのお米を使った調理	24人	33人	1人
12月6日(火)	桜塚小2年生	屋上菜園の大根収穫	2人	35人	2人
12月19日(月)	小曾根小5年生	生徒が育てた大根等を使った調理実習	2人	74人	2人
3月10日(土)	畑の楽校前期①	ほうれん草の収穫	14人	21人	6人
合計	64回		494人	3,541人	193人
			4,035人		

#### (7) 地産地消の活動

定着した活動が続いており、提供農家も増えています。豊中市農業者経営協議会研究部会と一緒に毎年6月、玉葱を一斉納入するほか、協力農家を中心に旬の野菜を納入する活動も続けています。量的にはわずかですが、学校給食への食材納入は資源循環の仕組み完結の1つであり、貴重な活動となっています。

実施日	イベント名	農園名ほか	販売野菜ほか	数量(個)	購入者数	スタッフ数
4月13日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・箕面・照月堂	野菜13・他2	141	56人	7人
4月28日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・黒田・岸本・橋本・照月堂	野菜22・米・他2	234	94人	11人
4月29日(金)	連合メーデーバザー	光久	野菜5	45	18人	3人
5月11日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・照月堂	野菜15・他2	112	45人	7人
5月26日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・黒田・橋本・照月堂	野菜21・米・他2	206	82人	8人
6月8日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・照月堂	野菜17・花1・他2	170	68人	6人
6月23日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・黒田・橋本・水田・照月堂	野菜17・米・他2	221	88人	11人
7月13日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・水田・照月堂	野菜14・花1・他2	220	88人	9人
7月28日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・岸本・黒田・水田・橋本・照月堂	野菜17・花2・米・他2	259	104人	7人
8月10日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・水田・照月堂	野菜16・他2	143	57人	13人

8月25日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・岸本・黒田・水田・橋本・照月堂	野菜19・米・他2	231	92人	12人
9月14日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・照月堂	野菜12・他2	113	45人	8人
9月22日(木)	さわ病院野菜市	光久・橋本	野菜13・米	84	34人	5人
10月12日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・照月堂	野菜15・他2	123	49人	8人
10月15日(土)	とよっぴー祭り	光久・岸田・橋本・照月堂	野菜18・米・他2	182	73人	5人
10月27日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・黒田・岸本・橋本・照月堂	野菜20・花1・米・他2	300	120人	9人
10月29日(土)	くらしかん祭り	光久・照月堂	野菜14・他2	151	60人	4人
11月9日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸本・柳澤・照月堂	野菜16・花1・他2	113	45人	5人
11月13日(日)	さわ病院文化祭	光久・岸田・柳澤・橋本・照月堂	野菜20・米・他1	256	102人	6人
11月24日(木)	さわ病院野菜市	光久・黒田・柳澤・橋本・照月堂	野菜7・花1・他2	222	89人	5人
12月3日(土)	千里西町フェア	光久・岸田・照月堂	野菜17・他2	242	97人	8人
12月10日(土)	環境展	光久・岸田・岸本・黒田・箕面・照月堂	野菜15・他2	253	101人	12人
12月14日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・柳澤・照月堂	野菜22・花1・他2	188	75人	5人
12月22日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・岸本・黒田・柳澤・笹部・橋本・照月堂	野菜20・花1・米・他4	318	127人	9人
1月11日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・柳澤・照月堂	野菜14・花1・他3	194	78人	7人
1月26日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・岸本・黒田・笹部・橋本・照月堂	野菜16・花1・米・他7	278	111人	10人
2月8日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・笹部・照月堂	野菜14・他6	154	62人	7人
2月23日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・岸本・黒田・笹部・橋本・照月堂	野菜14・米・他5	181	72人	9人
3月14日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・照月堂	野菜8・他2	146	58人	6人
3月22日(木)	さわ病院野菜市	光久・岸田・岸本・黒田・橋本・笹部・照月堂	野菜16・米・他5	145	58人	9人
合計	30回			5,625	2,248人	231人

### (8) 若者による農業分野チャレンジ事業でのスキルアップ講座

若者による農業分野チャレンジ事業の実施に伴い、理論を学べるよう農業に関する各分野の著名な方を招聘し、広く市民に呼びかけ実施しました。

実施日	講座の内容 (数字は連続講座の回数)	講師名	参加者数
6月3日(金)	①豊中における都市農業の様子を知る	豊中市農業委員会	32人
	②身近な野菜のエピソード	服部和雄さん(園芸アドバイザー)	32人
6月24日(金)	③野菜にとっての着花習性について	服部和雄さん(園芸アドバイザー)	38人
7月7日(木)	④農業と作物の起こり	種坂英次さん(近畿大学農学部准教授)	31人
7月15日(金)	⑤農業における雑草との付き合い方	間一孝さん(府立能勢高校教諭)	28人
7月28日(木)	⑥施肥設計	高橋太一郎さん(中小企業診断士)	35人
8月19日(金)	⑦病害虫と防除	開発基良さん(府立園芸高校教諭)	25人
8月26日(金)	⑧作物の生育(野菜栽培・連作障害)にかける愛情	開発基良さん(府立園芸高校教諭)	27人
9月16日(金)	⑨肥料を学ぶ(農薬・化学肥料)	安保英樹さん(大和肥料(株)代表取締役)	27人
	⑩肥料を学ぶ(有機質資材)		26人
10月7日(金)	⑪食と健康(身土不二)を求めて	尾崎零さん(日本有機農業研究会幹事)	25人
	⑫地産地消の薦めと広がり		25人
11月11日(金)	⑬日本の有機農業をめぐる社会状況	間一孝さん(府立能勢高校教諭)	24人
11月18日(金)	⑭農業と商工連携	高橋太一郎さん(中小企業診断士)	16人
12月8日(木)	⑮農業者が語る農への夢と期待	尾崎零さん(日本有機農業研究会幹事)	19人
1月13日(金)	⑯豊中アジェンダ21の活動	当法人事務局	19人
	⑰自然環境の保全と農業	柿本修一さん(当法人自然部会)	19人
1月27日(金)	⑱土づくり	間一孝さん(府立能勢高校教諭)	27人
2月17日(金)	⑲有機栽培を追い求めて	尾崎零さん(日本有機農業研究会幹事)	23人
3月16日(金)	⑳楽しく育てる野菜づくり	服部和雄さん(園芸アドバイザー)	30人
合計	20回		528人

### (9) 花いっぱい運動

生ごみ堆肥化実験プロジェクトの初期に市内3ヵ所で立ち上げた活動は現在36ヵ所に広がりました。地域社会の高齢化もあり、活動が大変であるとの意見も出ています。

しかし、地域のあるいは取り組む人々の特色もあって、さまざまな工夫や改善をしながら活動が継続されて推移しています。

### (10) とよっぴー祭り

恒例となった祭りは多くの関係団体との連携・協力の下、盛大に開催することができました。参加者は900人でした。市制施行75周年記念イベントと重なり、若干来場者数が減りましたが、「サツマイモ収穫」や「餅つき大会」をはじめ、各行事がにぎわい、成果をあげることができました。

## 10. 地球温暖化対策プロジェクト

### (1) 市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業

2007年に豊中市が策定した「豊中市地球温暖化防止地域計画」に基づいて、2008年度に豊中市が提案公募型委託制度により公募した「地球温暖化対策推進のための仕組みづくり事業」に応募・受託し、2008～2010年度まで豊中市と協働で事業を行ってきました。3年が経過したことを受け、2011年度は事業の受託者について再度公募が行われましたが、当法人は受託することができませんでした。

#### ア 事業への応募

実施日	内容	備考
9月12日(月)	事前説明会への参加	当法人を含め3社が参加
9月28日(木)	応募書類の提出	
10月3日(月)	プレゼンテーション審査会	当法人を含め2社が参加
10月7日(金)	不採用の通知	

#### イ 協議会への参加

当初より「豊中市チャレンジマイナス70推進協議会」に委員として参加していたため、協議会は引き続き参加しました。

回数	実施日	場所
平成23年度第1回	12月5日(月)	市役所第二庁舎3階南会議室
平成23年度第2回	3月26日(月)	くらしかん3階会議室

### (2) 省エネ診断・省エネ相談

#### ア 小規模事業所や小売店での省エネ診断

国の家電エコポイント寄附を活用し、豊中市内の小規模事業所や小売店の協力を得て、省エネ診断を試行しました。現地での診断や診断ソフトは(有)ひのでやエコライフ研究所の協力を得ました。

なお、当初は市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業と連携して取り組む予定でしたが、当法人が不採択となったため、この取り組み単独で実施しました。

実施日	内容	診断員数	スタッフ数
3月19日(月)	小売店など6件(新千里西町商店街)	2人	2人
3月22日(木)	小規模事業所3件	1人	3人
3月23日(金)	小規模事業所2件	1人	5人
3月27日(火)	小売店など2件(新千里西町商店街)	1人	1人

#### イ 省エネ相談

当法人の取り組みとして、診断ソフトを使った省エネ相談などを行いました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
7月12日(月)	エコカフェ(生活部会と合同)	千里文化センター「コラボ」	6人	1人
10月29日(土)	くらしかん祭り	くらしかん	6人	3人

### (3) 定例会 場所：環境情報サロン

実施日	4月23日	10月26日
出席者	8人	7人

## 11. あい・あいプロジェクト

次世代の担い手となる若い世代が中心となり、広義の環境問題について、持続可能な社会づくりに向けての「学び合い」をすすめるための活動です。初年度に学んだ「気づき」を元に、2年目の2011年度は、自然の中で子ども達と「学び合う」イベントを実際に企画実行しました。

### (1) 市民向け環境学習イベント

天竺のはらっぱに集まる親子や近隣の子どもたちに向けて、体験を通じて、自然の大切さを学び合うイベントを開催しました。

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
9月19日(祝)	環境学習ゲームにチャレンジ 「ネイチャーゲームであそぼう！」 場所 天竺のはらっぱ	親子11人	6人

### (2) 座談会

若い世代が意見を出し合う機会をつくるため、座談会を開催しました。

実施日	内容	場所	参加者数
3月3日(土)	環境教育を考える若者の座談会 「こころを育む環境教育とは」 ゲスト 石川聡子さん(大阪教育大学)	すてっぷ	14人

### (3) 連携・協力

天竺のはらっぱであそぼう会や、服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会と連携し、活動に協力しました。

実施日	内容	場所	参加者数
5月28日(土)	天竺のはらっぱであそぼう (プレイリーダー・現地調査)	天竺のはらっぱ	3人
6月25日(土)	天竺のはらっぱであそぼう (プレイリーダー・現地調査)	天竺のはらっぱ	4人
7月23日(土)	天竺のはらっぱであそぼう (プレイリーダー・現地調査)	天竺のはらっぱ	4人
8月27日(土)	天竺川の河川開放(プレイリーダー) 天竺のはらっぱであそぼう(プレイリーダー)	天竺川西願寺橋周辺 天竺のはらっぱ	5人
1月28日(土)	天竺のはらっぱであそぼう(プレイリーダー)	天竺のはらっぱ	4人
合計	6回		34人

### (4) 定例会 時間：19:00～21:00 場所：環境情報サロン

実施日	4月21日	7月21日	8月23日	8月25日	9月15日
参加人数	5人	5人	4人	4人	4人
実施日	10月20日	11月17日	12月16日	1月26日	2月16日
参加人数	4人	5人	4人	3人	3人



(参考) 2011 年度 (平成 23 年度) 各部会・プロジェクトに参画した豊中市の部署

部会・プロジェクト	参画部署名
生活部会	環境部 環境政策室※
	環境部 環境センター減量推進課
	市民協働部 消費生活課
	豊中市伊丹市クリーンランド 新炉建設課
自然部会	環境部 公園みどり推進課※
	環境部 環境政策室
	都市基盤部 水路課
	都市基盤部 道路維持課
事業部会	環境部 環境政策室※
	環境部 環境センター減量推進課
	市民協働部 地域経済課
	豊中市伊丹市クリーンランド 業務管理課
交通部会	環境部 環境政策室※
	都市基盤部 道路管理課
	都市基盤部 土木総務課
竹炭プロジェクト	環境部 公園みどり推進課※
企画屋本舗	環境部 環境政策室※
花と緑のネットワークとよなか	環境部 公園みどり推進課※
	環境部 環境センター減量推進課
	豊中市伊丹市クリーンランド 保全操作課
	豊中市伊丹市クリーンランド 総務課

※印：主担当

## 2011年度（平成23年度）収支計算書

2011年（平成23年）4月1日～2012年（平成24年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	決算額(イ)	差異(イ)-(ア)	備考
<b>I 収入の部</b>				
1 会費収入	840,000	840,000	0	
個人会費	260,000	245,000	△ 15,000	1,000×245口
団体会費	580,000	595,000	15,000	5,000×119口
2 事業収入	1,143,000	894,320	△ 248,680	頒布金、参加費等
3 助成金収入	50,000	300,000	250,000	大阪湾センター、豊中市
4 寄付金収入	850,000	984,913	134,913	家電エコポイント等
5 負担金収入	5,900,000	5,900,000	0	豊中市
6 受託事業収入	3,100,000	3,600,000	500,000	豊中市
7 堆肥頒布事業収入	1,300,000	1,671,800	371,800	
8 雑収入	2,000	360	△ 1,640	預金利子
当期収入合計(A)	13,185,000	14,191,393	1,006,393	
前期繰越金	2,000,245	2,000,245	0	
収入合計(B)	15,185,245	16,191,638	1,006,393	
<b>II 支出の部</b>				
1 一般事業費				
外注費	906,000	626,000	△ 280,000	環境展等
諸謝金	886,000	1,085,235	199,235	
賃借料	143,000	155,215	12,215	会場費等
消耗什器備品費	392,989	466,582	73,593	
印刷費	676,000	667,733	△ 8,267	
通信運搬費	469,000	335,418	△ 133,582	郵便、メール便等
事務消耗品費	301,000	149,264	△ 151,736	
旅費交通費	886,000	864,380	△ 21,620	
保険料	61,000	31,750	△ 29,250	行事保険
雑費	87,431	57,322	△ 30,109	
労務費	333,000	332,927	△ 73	温暖化対策費用の前年残り
一般事業費計	5,141,420	4,771,826	△ 369,594	
2 堆肥頒布事業費	1,300,000	1,671,800	371,800	
3 管理費				
賃金手当	8,000,000	8,062,488	62,488	職員2人
福利厚生費	22,000	19,498	△ 2,502	職員健康診断、お茶代
賃借料	180,000	177,660	△ 2,340	コピー機リース代
消耗什器備品費	40,000	33,513	△ 6,487	事務局備品
印刷費	160,000	80,005	△ 79,995	コピー代等
通信運搬費	140,000	118,433	△ 21,567	電話、送料等
事務消耗品費	120,000	74,451	△ 45,549	文具、紙類等
旅費交通費	3,000	0	△ 3,000	
保険料	43,000	38,000	△ 5,000	ボランティア保険
雑費	20,000	11,000	△ 9,000	振込手数料、印紙等
管理費計	8,728,000	8,615,048	△ 112,952	
4 予備費	15,825	0	△ 15,825	
当期支出合計(C)	15,185,245	15,058,674	△ 126,571	
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,000,245	△ 867,281	1,132,964	
次期繰越金(B)-(C)	0	1,132,964	1,132,964	

2011年度(平成23年度) 貸借対照表

2012年(平成24年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	2,055,201	流動負債	922,237
現金	174,346	未払金	831,122
預金	513,265	預り金	91,115
三井住友銀行	512,450		
近畿労働金庫	815		
ゆうちょ銀行	0		
未収入金	1,367,590		
立替金	0		
固定資産	0		
		繰越金	1,132,964
合計	2,055,201	合計	2,055,201

2011年度(平成23年度) 財産目録

2012年(平成24年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

科目・摘要	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	174,346		
普通預金三井住友銀行	512,450		
普通預金近畿労働金庫	815		
通常貯金ゆうちょ銀行	0		
未収入金	1,367,590		
立替金	0		
流動資産合計		2,055,201	
2. 固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,055,201
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	831,122		
預り金	91,115		
流動負債合計		922,237	
2. 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			922,237
正味財産			1,132,964

2011年度（平成23年度）事業報告及び決算に関する監査報告について

2011年度特定非営利活動法人与よなか市民環境会議アジェンダ21事業報告、財産目録、貸借対照表、収支決算書について、関係書類、預金通帳等を監査しましたところ、いずれも適正に執行管理されていることを認め報告いたします。

2012年（平成24年）6月7日

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ21  
理事長 新開悦子様

監事

伊藤 格



中村義世



特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
新役員名簿（案）

（50音順）

役職	ふりがな 氏名	所属等	備考
理事 (14人)	いのうえ かずひこ 井上 和彦	地球温暖化対策プロジェクト	
	いばらき こ 茨木 かづ子	事業部会、花と緑のネットワークとよなか	
	うえだ みねこ 上田 峯子	自然部会	
	おぎさ かずゆき 小篠 和之	事業部会、地球温暖化対策プロジェクト	新任
	かきもと しゅういち 柿本 修一	自然部会	
	きむら ふみやす 木村 文康	竹炭プロジェクト	新任
	さがわ ただし 佐川 直史	事業部会	
	ささき ただひろ 佐々木 忠弘	自然部会	
	しんかい えつこ 新開 悦子	生活部会、企画屋本舗	
	たかしま くにご 高島 邦子	花と緑のネットワークとよなか	
	なかい たけし 中井 健之	企画屋本舗	
	ひろた まなぶ 廣田 学	事務局長	
	みやた たけし 宮田 健	生活部会	
	やまもと かずお 山本 一夫	交通部会（豊中自動車教習所）	
監事 (2人)	いとう ただし 伊藤 格	竹炭プロジェクト	
	なかむら よしよ 中村 義世	花と緑のネットワークとよなか、交通部会	

任期：2012年6月21日～2014年度総会開催日

# 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2012 年度（平成 24 年度）事業計画（案）

## 1. 全体方針

『活動の節目を迎え、次のステップに向けた新たな方向を』

2012 年度は、さまざまな節目の年です。

1992 年に地球サミットで「アジェンダ 21」が採択されてから 20 年が経過しました。今年 6 月にはブラジルで国連持続可能な開発のための世界会議 (Rio+20) が開催され、過去の 20 年を振り返りつつ、人類はどのような未来を望むのかが議論されます。また、2012 年は京都議定書の第 1 約束期間の最終年度でもあり、エネルギー政策も含めて、国際社会や日本の動向が注目されます。

豊中では、2002 年にとよなか市民環境会議のワーキンググループから当法人が自立して 10 年が経過し、昨年 6 月には「第 2 次豊中アジェンダ 21」が策定されました。一方で、「第 2 次豊中アジェンダ 21」に留まらない内容として、豊中市が来年 4 月から「リサイクル交流センター」を「環境交流センター」に変更し、指定管理者制度を導入します。当法人としては、活動の新たな展開と財政強化のため、「環境交流センター」について採択に向けた応募を検討しています。

さらに、2011 年 3 月の東日本大震災以降のエネルギー問題では、温室効果ガスの削減を主とした議論がなされていないことを踏まえ、代替エネルギー・新しいエネルギーなどを含めた望ましい状況を議論・検討していきます。

具体的な取り組み例として、部会・プロジェクトの活動では、「第 2 次豊中アジェンダ 21」のリーディングプロジェクトとして行っていた「事業所の環境担当者場づくり」を引き継ぎ、事業所との新たな連携をめざします。そして、現在の社会状況を踏まえ、太陽光発電などをテーマとした連続学習会を開催し、持続可能な地域を考えます。

さらに、次のステップへ向けてこうした取り組みを主体的に行いながら、豊中市内の環境活動の拠りどころとなるプラットフォーム組織としての役割を高めていきます。

## 2. 全体事業

### (1) NPO 法人運営

NPO 法人の組織運営のため、定款に基づき、総会、理事会を随時開催し、法人としての意思決定、情報交流、活動の企画運営等を進めていきます。このような法人運営事務や活動全般の事務作業のため、事務局において、職員 3 人（常勤 1 人、非常勤 2 人）体制で対応していきます。

また、特別理事会に参加の特別会員の意見も参考にしながら、適切な法人運営を進めていきます。

\*関係する第 2 次豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：84・85・88

### (2) 環境情報サロンの運営

豊中市から運営を受託し、活動の拠点である「環境情報サロン」については、日常的な情報提供の他、これまでに設置してきた雨水タンクや太陽光パネルの活用や行事での利用など、より一層の活用を図っていきます。

- ・おもちゃ病院 偶数月の第 2 土曜日 10 時～12 時 こわれたおもちゃを修理します
- ・わいわいクラブ
- ・陶器とりかえボックスの設置

・豊中まつりでの「環境情報サロンパネル展」

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：82・83・84

### (3) 「第2次豊中アジェンダ21」の普及・進行管理

2011年に策定された「第2次豊中アジェンダ21」を普及啓発するとともに、とよなか市民環境会議が毎年公表する88項目の行動提案の進行管理について協力していきます。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：78・79・84・85

### (4) とよなか市民環境展2012の開催

豊中市内で活動する団体の発表の場として、子どもたちの環境学習の場として、市民が環境問題について知り・学ぶ場として、豊中市内で最大の環境イベントとなっています。

昨年度に引き続き豊島体育館にて、2012年度は12月7日（金）・8日（土）に開催する予定です。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：78・79・84・85・87

### (5) エコSUN市民発電（市民共同発電）事業

市民共同発電は、第1号機を契機に次の発展をめざすことを当初の狙いとしていました。しかし、市施設等への設置でのさまざまな制約条件等や、設置費用確保の難しさから事実上ストップしています。

一方、返還を前提に募集した出資金の返還がまだ半分のみのため、2012年度中に全額返済の手続きを完了するよう、取り組んでいきます。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：5・54

### (6) 家電エコポイント・住宅エコポイント寄附対象団体事業

国の家電エコポイント・住宅エコポイントは、環境団体への寄附をすることもできます。当法人は2010年度より環境寄附対象団体となりましたが、2012年度もいただいた寄附は申請した内容の実施において有効的に利用していきます。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：88

### (7) 共同デスク

（財）とよなか国際交流協会、（財）とよなか男女共同参画推進財団、（社）豊中市社会福祉協議会、NPO法人とよなか市民活動ネットきずな、当法人の5団体の担当者などにより、ゆるやかなネットワークと情報発信を目的に、2012年度も共同デスクとして壁新聞の作成などを行っていきます。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：78・82

### (8) 服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業

大阪府池田土木事務所、豊中市と協働で事務局運営を行い、地域の組織や団体が主体的に地域の環境づくりに関われるような取り組みを進めています。2012年度は、協議会の今後の方向性も見据えながら、次の展開を検討していきます。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：23・24・28・39・77・78



## (9) ESD

2005年1月より国連「持続可能な開発のための教育(ESD)」の10年が始まり、地域でこのESDを進めようと、豊中でもNPOや市などがゆるやかな連携で取り組みを始めました。2009年度にESDとよなか連絡会議と再編されましたが、今後の活動の広がりにつながることを期待し、参画していきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：76～83・87

## (10) 環境学習の推進

出前の環境学習リストを作成して広く配布し、学校・団体などからの希望があれば、リストに応じた部会・プロジェクトが講座を行っていきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：76・77・87

## (11) 市民活動分野の取り組み

当法人は環境活動に取り組む団体であるとともに、豊中市内で活動する市民団体でもあります。昨年度のマネジメント講座の実施のように、2012年度も市民活動分野の活動に積極的に参加・応募するとともに、関連の行政部署とも連携していきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：78

## (12) 広報活動

豊中アジェンダ21を進める活動をより多くの人に知ってもらうため、ニュースレターの発行やホームページの運営、イベントでの展示、ケーブルテレビへの出演、ミニコミ誌やタウン誌への情報提供など、多様な情報媒体を利用して情報の発信を行っていきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：84・85

## (13) 多様な団体との連携事業

豊中市内外の環境分野以外の団体も含めた多様な組織・団体と連携し、様々な機会、様々なスタイルで、イベントや行事、事業に参加していきます。例えば、豊中市内では、くらしかん登録グループに登録し、毎月開催される地産地消イベントや生活情報ひろばでのパネル展示、くらしかん祭りへ参加など、豊中市外では、環境自治体会議との連携やイベントへの出展などが想定されます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：78・79・84

## (14) 環境交流センターの指定管理者への応募検討

豊中市は、来年4月から「リサイクル交流センター」を「環境交流センター」とし、指定管理者を導入することとなりました。これに際し、当法人として指定管理者へ応募するのかを検討していきます。また、応募すると決めた場合は、採択されるように取り組んでいきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：76・78・83・87・88

## 3. 生活部会

### (1) 環境家計簿(エコライフカレンダー)をつけて地球環境を守ろう

- ・豊中市民版環境家計簿(エコライフカレンダー)による省エネ型ライフスタイルの普及啓発
- ・家庭での電気・ガス・水道・ガソリン等のエネルギーの節減や無駄のない暮らしを考えるために、

2013年版環境家計簿（エコライフカレンダー）を作成し、豊中市民を対象に、各家庭での省エネ・効率的な利用の普及啓発を行い、温暖化防止の行動につなげる。

- ・2013年版環境家計簿（エコライフカレンダー）作成に当たっては、最新の省エネ技術情報をとりいれ、使いやすいもの、省エネ実践に役立つよう配慮する。
- ・太陽光発電モニター家庭が増加している現状を踏まえ、太陽光発電モニター向けの情報発信やモニターとの意見交流の機会をつくり、2013年版環境家計簿（エコライフカレンダー）作成に反映させ、より幅ひろい運動に役立てられるよう検討する。
- ・2012年版環境家計簿（エコライフカレンダー）のモニターから寄せられた、各家庭での二酸化炭素排出量の集計処理に当たっては、分析・解析の精度をより向上させ、エコライフカレンダー運動をさらに省エネ・温暖化防止活動に継続して役立てられるように検討する。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：4

## （2）環境学習（環境教育）で環境人を育て、豊中アジェンダ21の普及を推進しよう

- ・エコロジーな生活について学ぶ
- ・日本のエネルギー・再生エネルギーについて学ぶ
- ・太陽光発電について学ぶ
- ・環境関連施設の見学会
- ・環境学習会を通じて豊中アジェンダ21を推進する仲間を増やす

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：76・77・84・87

## （3）わいわいクラブ講座～地球温暖化の防止と省資源・循環の暮らしを推進しよう

- ・環境に配慮した省エネ商品などの活用による省エネ啓発・促進
- ・暮らしのなかでのごみ減らし、再資源化を促進するために、何ができるかを考え学ぶ
- ・3Rの推進
- ・リサイクル品・リユース品による手作り講習会の開催
- ・省資源・循環についての研修・学習会の開催
- ・環境関連資料の収集と調査

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：6・11・12・14

## 4. 自然部会

生物多様性の維持にむけての活動を継続、拡大します。

1992年ブラジル・リオデジャネイロの地球サミットで「生物多様性条約」が採択されてから16年後の2008年に、日本でも「生物多様性基本法」が制定されました。第5条には“地方公共団体の区域の自然的社会的条件に応じた施策の策定と実施する責務を有する”と明記されています。当部会は、①自然に親しみ学ぶ、②自然を守り育てる、③自然をつくり育てる、を3本柱に活動していますが、近年特に山地、農地、湿地の減少で、自然領域の減少に歯止めがかかっていないのが現状です。

昨年度から「生物多様性豊中戦略」策定に活かす自然調査データ集積事業として、「キツネ・タヌキ生息地マップ」のデータを集積しましたが、引き続き、細々と生き続けている「豊中のキツネ・タヌキ」の絶滅を止める対策を講じなければなりません。また、行政、地域や市民、当法人の協働により、赤坂下池のヨシの生育を見守りツバメのねぐらの保全を継続する努力や、未来の森づくりの活動を行っていきます。

## (1) 自然を守る活動

- ・島熊山の自然を守る活動（島熊山緑地協議会団体会員活動として）
  - 島熊山緑地保全活動 毎月1回（年12回、適時追加活動を実施）
  - 雑木林に侵入した竹の伐採。倒木、枯れ枝の整理
  - 古池を含む緑地内の生物調査および生物多様性への取り組み
- ・猪名川自然林を守る活動（年2回）
  - 林床の保湿作業（倒木を横木に利用、杭打ちして落ち葉だまりを作って保湿する）
  - ササ刈、不法投棄ゴミの清掃作業
- ・天竺川の自然を守る活動（年1回、生き物調査は適時）
  - 川床への不法投棄ゴミの清掃と生き物調査
- ・羽鷹下池の自然を守る活動（年2回）
  - フェンス内のクズ刈り、草刈、不法投棄ゴミの清掃
  - 植物調査
- ・赤坂下池のヨシ育成とツバメのねぐら保全活動
  - ヨシと湿地の生き物観察会（年8回）
  - ツバメのねぐらへの飛来数調査

\*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：23・25・27・33・35・39

## (2) 自然学習講座

「豊中の自然を見つめみんなで考えよう」を大テーマに、新修豊中市史自然編が発行された1999年度から開始し、年3回開催しています。

2012年度は、特にリオデジャネイロの地球サミットから20年が経過したことを受け、自然を豊かにする実効性のある活動につなげられる専門家、研究者を講師にお迎えして講座を開催します。市民・行政・当法人会員がともに「第2次豊中アジェンダ 21」の「自然の豊かな豊中にしていこう」という章立てを推進する知恵を学びます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：22・26・34・35・38

## (3) 自然ふしぎ発見クラブ

自然の中での体験は、育ちの中で実に重要な体験です。低年齢であっても保護者とともに参加した子どもたちは、自然とともに過ごすよろこびを知り、みんなイキイキとしています。

内容：身近にある自然の中で自然観察や野遊び、クラフトづくりをする。

対象：5才以上の子ども（小学校3年生以下は保護者同伴）

開催回数：年6回、2時間

\*関係する第2次豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：23・24・39

## (4) 自然観察会

一般市民に自然に親しみ学ぶ場を提供していきます。

初夏の自然観察会（2012年5月開催予定）

水生生物観察会（2012年7月開催予定）

鳴く虫観察会（2012年9月開催予定）

野鳥観察会（2013年2月開催予定）

\*関係する第2次豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：22・23・24

### (5) 身近な生き物しらべ

- ・市民参加の生き物しらべ

- ・2012年度の事業「ツバメの営巣調査 とよなか・2012」

目的：2006年の調査データを参考に、豊中市内のツバメの営巣数を調べ、豊中の自然環境の変化を知る手立てとする。

調査期間：5月19日（土）から8月20日（月）

調査方法：一般市民を公募し、事前に説明会を実施

市内を50メッシュに区画割して1人、または複数で担当

調査員は担当区域の巡回や聞き込みでツバメの営巣場所を知り、調査・観察・記録

まとめの冊子を作成

報告会の開催

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：22・26・27・33

### (6) 春日町竹林・草地整備

- ・ヒメボタル生息地（竹林、草地）の整備作業（年5回）

- ・ヒメボタル保護者会の構成メンバーとして、豊中アジェンダ21の実行団体（自然環境団体）の立場で参加

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：25・26・32

### (7) ビオトープ作りと管理

- ・上野坂ビオトープ（上野坂2丁目・第4公園内）

池、草地の手入れ（生物多様性を柱に自然度を高める作業）

自然観察会

自然変化の記録（植物、昆虫、水生植物、水生生物等）

- ・環境情報サロンの野生生物実験園（豊島公園内）

草地の手入れ

植物、生き物調査

写真による実験園の展示

- ・新たなビオトープ作りに対応

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：38・39

### (8) 希少種植物調査（補充調査）

- ・2008年3月に「レッドデータブック豊中」としてまとめたが、まだ未調査地があるため、2012年度も継続調査を実施

- ・希少種植物再確認調査（希少種保全へつなげる）

- ・補充調査のまとめの作成

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：22・27・29・30・81・83

### (9) その他（地域団体支援、交流、部会会議等）

- ・自然部会定例会（月1回）

- ・必要により臨時部会

- ・部会員研修会、観察会

- ・くらしかん事業、およびくらしかん祭り
- ・豊中まつり
- ・市民環境展
- ・行政、学校、公民館、地域への支援、協力事業

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：22～40・76～88

### （10）豊中の自然を保全・復元する活動団体ネットワーク

2007年全労済地域貢献助成を受け、2008年7月31日に終了しましたが、その後もその事業を継続し、自然の保全・復元活動情報の共有や、交流しつつ豊中の自然を豊かにする成果をあげています。（助成金事業で「豊中自然探訪マップ」を作成・活用しています。）

- ・自然探訪「わがまちの品格 保護樹木、大木、古木を訪ねて」（2回開催）
- ・郷土豊中の自然史を聞く「思い出自然館」（1回開催）
- ・ネットワーク団体へ環境情報の提供、事業共催、協力等

豊中の自然を保全・復元する活動団体（豊中アジェンダ21の推進と生物多様性保全の活動）

大阪府立刀根山高校環境緑化委員会、NPO法人豊島北ビオトープクラブ、  
どんぐり山を守り育てる会、上野丘自治会・まちづくり委員会、グリーンリーフクラブ、  
豊中ヒメボタル保護者会、羽鷹池を守る会、島熊山緑地協議会、島熊山の雑木林を守る会、  
服部緑地の自然を育てる会、服部緑地竹レンジャー、大阪大学キャンパスデザイン室  
NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21（自然部会、竹炭プロジェクト）

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：22・23・25・26・27・29・32・33・35・  
78・80

### （11）未来の森づくり

- ・とよなか市民環境展2008からスタートした、新たな豊中の森づくり
- ・2011年度の環境展に参加した家庭で育成中の幼木育成状況の把握と集約
- ・2012年度の実施内容

島熊山など豊中産の木の実（どんぐりなど）から樹木を発芽させて、次世代への森づくり  
ドングリひろい

市民環境展などで、竹ポットへドングリを植付け、各家庭で苗木に育てる

千里中央公園などで苗木を植樹

環境省などが提唱する「グリーンウェイブ2012」に登録

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：23・26・39・40

### （12）自然調査データ集積事業

生物多様性基本法が施行されて4年目となりましたが、豊中市で「生物多様性地域戦略」がいまだに策定計画されていません。一方、「第2次豊中アジェンダ21」では、行動提案33「ツバメの巣や、赤坂下池のツバメのねぐらを見守り、大切にしよう」、行動提案35「キツネやタヌキなどの生息空間、希少植物の生息地を大切に、保全し続けよう」など、具体的な行動提案が行われました。

2012年度は、「新修豊中市史自然編」「身近な環境しらべ報告書」、当部会が調査・発行した身近な生き物しらべ2003～2012年の冊子等からデータ集積作業を地道に行っています。

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：22・26・27・33・35

## 5. 事業部会

### (1) 学習会・セミナー

- ・「エコでお金がもうかる」をテーマに、シリーズでセミナーを開催  
事業所の省エネ、環境配慮型商品などについて3~4回連続で実施

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：43・50~56・58

### (2) 見学会

- ・廃棄物処理施設など廃棄物に関する施設や下水処理施設などを見学（2回程度）

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：47・48・52・58

### (3) 機密書類リサイクル

- ・4月の第3木曜（第10回）と、10月の第3木曜（第11回）に開催（年2回）
- ・豊中商工会議所との連携を継続し、更なる参加事業者の拡大をめざす
- ・参加事業所に意向を聞きながら、回数を増やすことも検討

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：47・48

### (4) 部会活動のPR

- ・とよなか市民環境展での活動紹介
- ・とよなか産業フェアに出展し、活動を多くの事業所や市民に知ってもらう

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：43・58

### (5) 新活動内容の検討・試行

- ・環境教育の取り組みを推進

将来的には事業所が実施できることをめざして、2012年度は事業所の意向を調査し、モデル実施を試みる

- ・情報発信の充実

会員事業所の取り組みについて、フォーマットを作成・情報収集をしホームページで発信

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：44・57・58

### (6) 事業者の交流の場づくりプロジェクト

- ・2011年度まで「第2次豊中アジェンダ21」のリーディングプロジェクトの1つとして実施していた活動を、2012年度から事業部会のプロジェクトとして実施
- ・各事業所の情報共有や交流を図ることを目的に、新たな会員事業所の獲得にも役立てる
- ・2012年度に環境担当者交流会を2~3回開催（5月16日に第2回を実施）

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：58・59・78・79

## 6. 交通部会

### (1) 交通環境学習

豊中自動車教習所と一緒に、豊中市・豊中警察署・豊中南警察署と協力して、小学生・中学生・高校生やその保護者を対象に、自転車シミュレーターなどを使った交通環境学習を行います。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：69・70・72・77

## (2) 自転車バランス王座決定戦

子どもたちを対象に、「自転車バランス王座決定戦」を市内のさまざまな行事で開催します。このイベントを通して、自転車に乗った際のバランス感覚を養うとともに、自転車利用の促進や利用のマナーを伝えていきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：69・70・72・77

## 7. 竹炭プロジェクト

### (1) 竹林の間伐（新千里北町1～2丁目、千里中央公園）

新千里北町1丁目の間伐作業は、2012年度中の終了を見込んでいます。間伐後の竹林は日が差し込み、実生も多く生まれています。雑木林の復活が進むように、絶えず看視をしながら間伐を継続していきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：23・24・26・28・32

### (2) 竹炭焼き（千里中央公園、野外炊さん場）

新千里北町や千里中央公園の間伐で出た竹材を有効活用するため、竹炭焼きに使用しています。短時間で焼ける小缶を使った竹炭焼きも行い、参加者に実際に焼いている現場を見てもらうようにしています。2012年度もドラム缶20窯程度の竹炭焼きを行います。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：23・28

### (3) 竹林整備（千里中央公園）

#### ・土留め作業と側溝の土砂払い

千里中央公園の東側林内から林縁にかけて土砂流失箇所が多くあるため、杭と板による土留め作業を続けています。また、安場池からすべり台までの側溝は、大雨のたびに土砂が流れ込むとともに、秋には落葉でいっぱいになるため、それらを側溝から除く作業を行っています。同じく、野外炊さん場などに積もった落葉は、自然に還すために林内に戻しています。

2012年度は、これらに加えて、西側竹林の整備も考えています。

#### ・地面の表土流失防止

大雨のたびに地面の表土が流失し、深い溝ができて危険なため、草の植え付けなどを試みていますが、現状では草が育つ前に流されて、苦戦しています。2012年度も引き続き、草地となるようにしていきたいと考えています。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：24・26・28・32・39・40

### (4) 竹炭製品の活用とイベント参加

毎月定期的に行われる地産地消や市内のイベント（環境展、豊中まつり、農業祭、くらしかん祭りなど）で竹炭製品が、豊中産の商品として消臭や水の浄化に役立っていることもPRしながら頒布します。

また、イベントでは竹林の間伐や竹炭焼きについて説明しながら、サクラの小枝、ツル、木の実を利用して自然工作を行います。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：23・28

## 8. 企画屋本舗

### (1) わがまちとよなか再発見！ちょっといいとよなか見つけにいこかウォーク

- ・豊中の自然、文化、歴史等の環境を楽しく知るために、「まち」を切り口にウォーキングを行う
- ・環境分野以外の人達や、地元の人達との連携ができる内容にする
- ・事業者と連携して、従来と異なるウォークができないか検討する
- ・豊中の環境を考えてもらうため、誰でも参加しやすいようにハードルが低く、楽しめる企画を行う

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：71・74・80・81・84

### (2) 環境びっくり箱 親子で楽しくエコツアー

- ・「生活の中で当たり前の思考や行動が、環境に配慮した暮らし方になっている」を目的とする
- ・環境教育は年代や性別、そして場所、時間等を問わず継続して行うことが重要と考え、主に学齢期の子どもとその保護者を対象とする
- ・多様な切り口で楽しみながら環境問題を捉える事で興味を引き寄せ、さらに行動へと発展させられる内容を考える
- ・夏休みや土、日曜など参加しやすい日程を検討

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：76・78・79・80・82・84

### (3) 定例会などの会議、その他作業等

事業計画の検討、打ち合わせ、準備作業

## 9. 花と緑のネットワークとよなか

### (1) 食の循環事業（地産地消）の推進

市内農業者の協力を得て土壌改良材「とよっぴー」を田畑に使用することを通じ無農薬・無化学肥料栽培や減農薬・減化学肥料栽培等による栽培によって生産される作物類を地域で消費する活動（地産地消）の推進に努めます。特に、くらしかんの地産地消、さわ病院の野菜市の活動継続と、他の場所での拡大を追求します。また、給食食材への地場産納入について、これまでの成果を持続させるため、引き続き関係者との連携を強めます。

- ・地産地消活動のさらなる強化・拡大
- ・各種イベント並びに環境展での栽培作物の頒布活動の実施
- ・協力農家の拡大による給食食材（野菜）の納入拡大
- ・「豊中市食育基本計画」の推進に向けた活動連携

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：12・13・14・81・84

### (2) 花いっぱい運動（緑とコミュニティの創造）の推進

地域の空地や公園等の土地空間を利用して土壌改良材「とよっぴー」を使った花栽培（花壇）のネットワーク（花いっぱい運動ネットワーク）の拡大を追求します。

- ・花いっぱい運動ネットワーク組織の拡大及び交流の強化（栽培学習等を補強）
- ・花の栽培を通じたコミュニケーションの深化と豊中アジェンダ21活動の普及
- ・花いっぱい運動写真展への応募と表彰制度の検討
- ・花いっぱい運動グループの賛助会員化への努力

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：32・36・37・78・84



### (3) 環境学習（食育推進）の推進

「とよっぴー」農園を活用した農体験型環境学習や緑と食品のリサイクルプラザの施設見学を通じた有機資源の有効活用に関する啓発、環境学習を実施します。また、クリーンランド見学者に対する堆肥化事業の宣伝や小中学校等への出前環境学習を「農と食」あるいは「堆肥化」を基軸に実施します。出前環境学習は学校等菜園支援の活動とリンクして推進します。

- ・「とよっぴー」農園を活用した多様で系統的な農と食の体験事業の実施
- ・小学生向け施設見学パワーポイントの新規作成
- ・「堆肥化ビデオ」の活用及び活動ビデオの新規作成
- ・「とよっぴー」紙芝居の活用と新規作成
- ・学校への出前講座教材作成（4年生：食品ごみと暮らし、5年生：米づくりと環境）と更新作業

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：36・76・77

### (4) 循環型社会推進啓発活動（資源循環）の推進

緑と食品のリサイクルプラザ事業を核として有機質資源の有効活用を通じた資源循環型社会の形成のための活動を協働の観点から大切にしながら推進します。

- ・「とよっぴー」の有効活用と活用者との連携
- ・食育の立場からの給食食材の地場産納入による食の循環活動
- ・地球温暖化防止の役割と生ごみ排出量の削減及び有機資源の有効活用の促進のための堆肥化講習会の実施と堆肥化活動・活用助成制度の推進
- ・施設見学者に対する有効的な応接と説明による交流拡大、および環境学習の強化
- ・農体験型環境教育及び体験関係者に対する環境教育の実施
- ・楽しい野菜栽培講習会の開催

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：6・8・12・13・14・19・20・21・29・36・37・77・78・79・84・85

### (5) 学校等菜園支援化事業（食と農の連携）の推進

小学校・幼稚園を対象に施設内菜園での作物栽培に関する支援を食育の観点から実施します。また、保育所等でも同様の取り組みを検討します。

- ・菜園指導及び支援体制の確立（菜園支援）
- ・菜園支援を通じた環境教育の実践（教室内学習）
- ・学校等菜園支援化活動の総括書の作成

＊関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：13・14・20・21・36・77・78・83・84・85

### (6) その他の活動（プロジェクト活動の強化）

- ・毎月1回（第2火曜日）に定例会を実施
- ・年1回先進地の見学学習会を実施
- ・「とよっぴー祭り」を関係者と協働しながら開催
- ・温暖化防止の観点からの堆肥化システム現況の検証
- ・プロジェクト活動の記録編の作成に着手
- ・緑と食品のリサイクルプラザ事業の総括を踏まえた新たな事業展開の模索
- ・ホームページのリニューアルによる広報活動の強化、並びにブログ活用方途の再構築

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：6・8・13・14・19・21・25・29・32・57・76・77・78・87

## 10. 地球温暖化対策プロジェクト

### (1) 小規模事業所や小売店での省エネ診断

2012年度も国の家電エコポイント寄附を活用し、豊中市内の小規模事業所や小売店の協力を得て、省エネ診断を試行するとともに、寄附がなくなった後も事業を継続できる可能性についても検討していきます。

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：1・2・3・5・52・53・54・81

### (2) 定例会、その他

- ・定例会の開催（年に数回）
- ・プロジェクトとして独自に省エネ診断のあり方などを検討、試行する

## 11. あい・あいプロジェクト

### (1) 体験型環境教育プログラムの作成と実施

広義の環境問題や持続可能な社会づくりについて学んだり、考えたりすることのできる環境教育プログラムを開発し、体験を通じて子ども達へ伝えることで、子ども達の学びへとつなげていきます。また、一方的に講義するのではなく、プロジェクトメンバーが伝える側として学びながら実施していくことで、若い世代（大学生～小さい子どもがいる親世代）の担い手を育てていきます。

- ・天竺のはらっぱを拠点として、そこに集まる子ども達と共に自然を肌で感じながら、学び合う。自然の大切さや命の尊さ、自分を大事に思う気持ちを育むためのイベントやワークショップを開催しながら、プログラム作りを行う
- ・必要に応じて、外部の研修に参加したり、他の部会プロジェクトに参加して学びを深めることで、プロジェクトメンバー同士のふりかえりを行いながら、プログラム作りにつなげていく
- ・市販や配布されている環境教育教材を調査、研究しながら、豊中オリジナル環境教育教材の開発を行う

\*関係する第2次豊中アジェンダ21の行動提案項目：76・77・80・82・87

### (2) 定例会、その他

- ・定例会の開催（年5～6回程度）
- ・プロジェクトへ若い世代の参加呼びかけ

## 2012年度（平成24年度）収支予算書（案）

2012年（平成24年）4月1日～2013年（平成25年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	前年度予算額(イ)	増減(ア)-(イ)	備考
<b>I 収入の部</b>				
1 会費収入	820,000	840,000	△ 20,000	
個人会費	240,000	260,000	△ 20,000	1,000×240口
団体会費	580,000	580,000	0	5,000×116口
2 事業収入	1,424,000	1,143,000	281,000	頒布金、参加費等
3 助成金収入	230,000	50,000	180,000	大阪湾センター、豊中市
4 寄付金収入	659,000	850,000	△ 191,000	エコポイント等
5 負担金収入	5,700,000	5,900,000	△ 200,000	豊中市
6 受託事業収入	3,100,000	3,100,000	0	豊中市
7 堆肥頒布事業収入	1,400,000	1,300,000	100,000	
8 雑収入	1,000	2,000	△ 1,000	
当期収入合計(A)	13,334,000	13,185,000	149,000	
前期繰越収支差額	1,132,964	2,000,245	△ 867,281	
収入合計(B)	14,466,964	15,185,245	△ 718,281	
<b>II 支出の部</b>				
1 一般事業費				
外注費	668,000	906,000	△ 238,000	環境展等
諸謝金	1,100,000	886,000	214,000	
賃借料	157,000	143,000	14,000	環境展等
消耗什器備品費	116,000	392,989	△ 276,989	
印刷費	709,000	676,000	33,000	
通信運搬費	389,000	469,000	△ 80,000	
事務消耗品費	216,000	301,000	△ 85,000	
旅費交通費	907,000	886,000	21,000	
保険料	54,000	61,000	△ 7,000	行事保険
雑費	92,969	87,431	5,538	
労務費	0	333,000	△ 333,000	
一般事業費計	4,408,969	5,141,420	△ 732,451	
2 堆肥頒布事業費	1,400,000	1,300,000	100,000	
3 管理費				
賃金手当	7,700,000	8,000,000	△ 300,000	職員常勤1名、非常勤2名
福利厚生費	22,000	22,000	0	職員健康診断、お茶代等
賃借料	178,000	180,000	△ 2,000	コピー機リース代
消耗什器備品費	40,000	40,000	0	事務局備品等
印刷費	110,000	160,000	△ 50,000	コピー代等
通信運搬費	130,000	140,000	△ 10,000	電話、送料等
事務消耗品費	100,000	120,000	△ 20,000	文具、紙類等
旅費交通費	2,000	3,000	△ 1,000	
保険料	40,000	43,000	△ 3,000	ボランティア保険
雑費	18,000	20,000	△ 2,000	振込手数料、印紙等
管理費計	8,340,000	8,728,000	△ 388,000	
4 予備費	317,995	15,825	302,170	
当期支出合計(C)	14,466,964	15,185,245	△ 718,281	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,132,964	△ 2,000,245	867,281	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

# 特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21 定款

## 第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この法人は、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 (略称 N P O 法人エコ市民豊中) という。 英語名を Toyonaka Citizens E nvironmental C onference AGENDA21 とする。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を大阪府豊中市曽根南町 1 丁目 4 番 3 号 豊中市環境情報サロン内に置く。

(目的)

第 3 条 この法人は、地域社会とそこに生活する市民、さらには未来を担う世代のために、安心して暮らせる環境が確保できるよう、かけがえのない地球環境の形成とやさしさに溢れた地域社会を目指した「豊中市環境基本計画」の理念及び目標と一致する市民活動計画である「豊中アジェンダ 21」の推進を図ることを通じて、持続的発展が可能な地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(活動に係る種類)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法 (以下「法」という。)

第 2 条別表中、次の各号に掲げる特定非営利活動を行う。

- ①環境の保全を図る活動
- ②まちづくりの推進を図る活動
- ③社会教育の推進を図る活動
- ④学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- ⑤子どもの健全育成を図る活動
- ⑥地域安全活動
- ⑦国際協力の活動
- ⑧経済活動の活性化を図る活動
- ⑨消費者の保護を図る活動
- ⑩前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業に係る種類)

第 5 条 この法人は、第 3 条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

### 1 特定非営利活動に係る事業

- ①環境の保全に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ②環境と調和し共生したライフスタイルの調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ③環境と調和した持続的発展が可能な地域社会を創造するための調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ④環境と調和したまちづくり推進のための調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ⑤環境教育の推進に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ⑥環境活動を通じた子どもの健全育成に関する調査研究及び実践の事業
- ⑦環境保全活動に関する国際交流や国際協力の事業
- ⑧地域の安全、文化などにおける分野での環境に関する政策の提言及び政策推進の事業

### 2 その他目的を達成するために必要な活動

## 第 2 章 会員

(種別)

第 6 条 この法人の会員は、次の 3 種とし、正会員をもって法上の社員とする。

- ①正会員  
第 3 条に規定する目的に賛同して入会した個人又は団体。
- ②賛助会員  
第 3 条に規定する目的に賛同して、この法人の事業を援助する個人又は団体。
- ③特別会員  
第 3 条に規定する目的に賛同して、この法人の健全な発展と政策立案並びに諸活動に関し、助言・協力する学識経験者等の個人で理事会が推薦する者。

(入会)

第7条 正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、その旨を記載した入会申込書を理事長に提出し、その承諾を受けなければならない。

2 理事長は、前項の申し込みについては、正当な理由がない限り入会を認めることとするが、入会を認めない場合は、理事会の承認を経た上で、その理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

3 理事会から特別会員に推薦された者は、入会の手続きを必要とせず、本人の承諾をもって会員となる。

(会費)

第8条 正会員及び賛助会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

2 会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなすことができる。

①本人が死亡又は会員である団体が消滅したとき。

②会費を1年以上滞納し、相当の期間を定め催告してもこれに応じず、理事会において支払いの意思がないと認定した者。

(除名)

第10条 会員が次の各号のいずれかに該当する場合は、総会において社員総数の3分の2以上の議決により除名することができる。

ただし、その会員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

①法令又はこの法人の定款に違反したとき。

②この法人の秩序を著しく害し、又は、公序良俗に反する行為をしたとき。

③この法人の名誉を棄損し、又は設立の目的に違反する行為をしたとき。

(会費などの不返還)

第11条 この法人は、すでに会員が納入した会費及びその他の拠出金品はその理由を問わず、これを返還しない。

### 第3章 役員

(役員の種類及び定数)

第12条 この法人に次の役員を置く。

①理事 13人以上 20人以内

②監事 2人以上 3人以内

(役員を選任)

第13条 役員は、総会において正会員又は正会員である団体の代表者の中から選任する。

2 理事のうち、1人を理事長、2人以内を副理事長とする。

3 理事長及び副理事長は理事の中から互選により定める。

4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が、役員総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

(職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総括する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる業務を行うものとし、その執行にあたって必要なときはいつでも理事に対して報告を求め、調査することができる。

①理事の業務執行の状況を監査すること。

②この法人の財産の状況を監査すること。

③前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又

- は大阪府知事に報告すること。
- ④前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
  - ⑤理事の業務執行状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期)

- 第 15 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠又は増員により再任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
  - 3 前 2 項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選出されていないときは、その任期を、任期の末日後、最初の社員総会が終結するまで伸長する。

(欠員補充)

- 第 16 条 理事又は監事のうち、その定数の 3 分の 1 を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

- 第 17 条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の議決に基づいて解任することができる。
- ただし、その役員に対し議決の前に弁明の機会を与えなければならない。
- ①心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
  - ②職務上の義務違反、その他役員として相応しくない行為があると認められるとき。

(役員報酬)

- 第 18 条 役員は、その総数の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を受けることができる。
- 2 役員には、その業務執行に必要な費用を支弁することができる。
  - 3 前 2 項に関し必要な事項は、予算の範囲内で理事会の議決を経て別に定める。

(顧問)

- 第 19 条 役員の外に、顧問を置くことができる。
- 2 顧問は理事会において選任する。
  - 3 顧問の任期は 2 年とする。
  - 4 顧問は、理事長より相談ごとの申請があれば、その解決のために努力する。

## 第 4 章 総会

(総会)

- 第 20 条 総会は、この法人の最高の意思決定機関であって正会員をもって構成する。
- 2 総会は、通常総会と臨時総会とする。

(総会の機能)

- 第 21 条 総会は以下の事項について議決する。
- ①定款の変更
  - ②解散及び合併
  - ③事業計画及び収支予算の承諾
  - ④事業報告及び収支決算の承諾
  - ⑤役員の選任又は解任、及び職務
  - ⑥会費の額
  - ⑦長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
  - ⑧その他理事会において重要と認め報告された事項
  - ⑨その他運営に関する重要事項

(開催)

- 第 22 条 通常総会は、毎年 1 回開催とする。
- 2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。
    - ①理事会が必要と認めたとき。
    - ②正会員の 5 分の 1 以上から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。
    - ③監事が第 14 条第 4 項第 4 号の規定により招集したとき。

(総会の招集)

- 第 23 条 総会は、前条第 2 項第 3 号の場合を除き理事長が招集する。

- 2 理事長は前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選任する。

(総会の定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議決事項はこの定款に規定するもののほか、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議決に加わることはできない。

(総会における議決権等)

第27条 正会員の議決権は、1人又は1団体につき、1単位とする。

- 2 やむをえない理由のため、総会に出席できない正会員は、あらかじめ書面をもって議決し、又は他の正会員を代理人として議決を委任することができる。
- 3 前項の場合における前2条の規定の適用については、その正会員は総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第28条 総会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- ①日時及び場所
  - ②正会員の現在数
  - ③出席した正会員の数（書面表決者及び表決委任者については、その旨を明記すること）
  - ④審議事項及び議決事項
  - ⑤議事の経過の概要及びその結果
  - ⑥議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、その会議において出席した正会員の中から選任された議事録署名人2人以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

## 第5章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第30条 この定款で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

- ①総会に付すべき事項
- ②総会の議決した事項の執行に関する事項
- ③その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第31条 理事会は、次の各号のいずれか該当する場合に開催する。

- ①理事長が必要と認めたとき。
- ②理事現在数の4分の1以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。

(招集)

第32条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事会を招集するときは、審議に付すべき事項並びに日時及び場所を示した書面をもって、少なくとも開催日の5日前までに、理事に対し、通知しなければならない。

ただし、全理事の出席と同意がある場合は、この招集手続きを経ずして直ちに開催することができる。

(議長)

第 33 条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決等)

第 34 条 理事会は、理事現在数の過半数以上の出席がなければ開会することができない。  
2 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席理事の過半数をもって決する。

(議事録)

第 35 条 理事会の議事については、議長において議事録を作成し、議長及び出席理事の中から選任された議事録署名人 1 人が署名押印する。

## 第 6 章 特別理事会及び委員会設置等

(特別理事会)

第 36 条 第 6 条第 3 号で定める特別会員により、この法人の事業活動並びに活動計画等を専門的立場から検証・評価・提案するための機関として、特別理事会を設置することができる。  
2 特別理事会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会において定める。

(委員会等)

第 37 条 理事会は、事業の円滑な執行を図るため、委員会、研究会又は部会及びプロジェクト（以下「委員会等」という。）を設置することができる。  
2 委員会等は、その目的とする事項について、調査研究、又は事業を執行する。  
3 委員会等の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

## 第 7 章 資産、会計及び事業計画

(資産の構成)

第 38 条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。  
①財産目録に記載された財産  
②会費  
③寄附金品及び助成金  
④財産から生じる収入  
⑤事業に伴う収入  
⑥その他の収入

(資産の管理)

第 39 条 資産は理事会の議決を経て理事長が管理し、その方法は、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第 40 条 この法人の会計は、法第 27 条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(経費の支弁)

第 41 条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(特別会計)

第 42 条 この法人の会計は、必要に応じて特別会計を設けることができる。

(事業計画及び予算)

第 43 条 この法人の事業計画及び収支予算は、理事長が作成し、総会の承諾を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。  
2 予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、前項の規定にかかわらず、理事会の議決を経て、予算の追加又は更正することができる。  
ただし、追加又は更正した予算は、直近の総会で報告しなければならない。



(予備費の設定及び使用)

第 44 条 前条に規定する予算には、予算経過又は予算外の支出に充てるため、予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第 45 条 第 43 条の規定にかかわらず、やむを得ない事由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じて収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第 46 条 理事長は、毎事業年度終了後 3 ヶ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承諾を得なければならない。

2 会計の決算上、剰余金が生じたときは、翌事業年度の繰り越すものとし、構成員に分配してはならない。

(臨機の措置)

第 47 条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借り入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第 48 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

## 第 8 章 事務局

(設置)

第 49 条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

1 事務局には、事務局長とその他の職員を置くことができる。

2 事務局の職員は、理事長が任命する。

3 理事は事務局長、若しくは事務局員を兼任することができる。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

(備置き書類)

第 50 条 事務局は主たる事務所において、特定非営利活動促進法第 28 条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかななければならない。

① 会員名簿及び会員の異動に関する書類

② 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

## 第 9 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 51 条 この定款の変更は、総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の多数による議決を経なければならない。

(解散)

第 52 条 この法人は、次に掲げる事由によって解散する。

① 総会の決議

② 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能

③ 正会員の欠亡

④ 合併

⑤ 破産

⑥ 大阪府知事による設立の認証の取り消し

2 前項第 1 号の事由による解散に関する議事は、正会員総数の 3 分の 2 以上の議決を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第 53 条 この法人が解散したとき（合併又は破産による解散を除く）に有する残余財産は、総会の議決を経て、次の各号のいずれかに該当するものに譲渡する。

① 特定非営利活動法人

②民法第 34 条に規定により設立された法人

(合併)

第 54 条 第 52 条第 2 項規定は、合併に関する事項に準用する。

## 第 10 章 雑則

(公告)

第 55 条 この法人の公告は主たる事務所に掲示するほか、官報により行う。

(委任)

第 56 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

- 1 この定款は、この法人の設立の日から施行する。
- 2 この法人の設立時の会費は、第 8 条の規定にかかわらず、次の各号に掲げるものとする。
  - ①正会員

個人	会費年額一口	1, 000 円
団体	会費年額一口	5, 000 円
  - ②賛助会員

個人	会費年額一口	1, 000 円
団体	会費年額一口	5, 000 円
- 3 この法人の設立当初の役員並びに役職は、第 13 条第 1 項及び第 3 項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとし、その任期は第 15 条第 1 項の規定にかかわらず 2004 年（平成 16 年）6 月 30 日までとする。
  - ①理事長  
河野猪太夫
  - ②副理事長  
茨木かづ子、新開 悦子
  - ③理事  
上田 峯子、易 信子、大岡 一馬、奥野 享、高島 邦子、中村 義世  
堀 正恒、水野 辰彦、三宅 史郎、宮田 健、山本 和子、山口 壽
  - ④監事  
今井 文子、中井 健之
- 4 この法人の設立年度の事業計画及び収支予算は、第 43 条第 1 項の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 5 この法人の設立初年度の事業年度は、第 48 条の規定にかかわらず、成立の日から平成 16（2004）年 3 月 31 日までとする。

特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21

設立代表者氏名 河野猪太夫

平成 16 年 6 月 25 日改正

平成 18 年 6 月 21 日改正

## 「第2次豊中アジェンダ21」88項目の行動提案

### 第1章 地球温暖化の防止と省資源・循環の暮らし

中項目	番号	行動提案
温室効果ガス 排出量の削減	1	家電製品を買うときは、省エネ度のすぐれたものを選ぼう
	2	使い終わった電気製品は必ず主電源を切ろう
	3	冷房温度は28度に、暖房温度は20度を目安にしよう
	4	豊中市民版環境家計簿（エコライフカレンダー）をつけて二酸化炭素排出を減らそう
	5	太陽光発電や高効率の給湯、断熱工法を取り入れた省エネの住宅を作ろう
3Rの推進	6	暮らしを見直し、発生抑制と再使用を促進し、ごみの少ない社会へ
	7	長く使えるものを選び、壊れても修理をして、不要なものはバザーなどに出そう
	8	クリーンランドや緑と食品のリサイクルプラザ、下水処理場などを見学し、廃棄の後のことも考え、行動しよう
	9	買い物袋を持参しよう
	10	ばら売りや量り売りの店を利用し環境に配慮した買い物をしよう
	11	もったいない精神を大切に、便利なくらしに頼りすぎない文化を育てよう
資源循環	12	買いすぎや食べ残しをなくし、家庭や事業所で食品のリサイクルを進めるなど、食品をごみとして捨てないシステムをつくろう
	13	農薬や化学肥料をできるだけ使わない環境保全型農業を支援しよう
	14	野菜や果物などの食料は地場産のもの、旬のものを食卓にのせよう
水	15	食用油はできるだけ使い切り、下水に流さないようにしよう
	16	洗たくや打ち水、植木の水やりには風呂の残り湯や雨水、井戸水などを利用しよう
	17	歯を磨いている間は水道の水を止めるなど、洗面、炊事、洗車などの節水に努めよう
	18	地下水や湧き水、井戸水を大切にしよう
化学物質	19	健康への影響が危惧される食品や製品の使用は避けよう
	20	環境負荷の少ない家庭・事業所の営みを進めよう
食育	21	健康増進や食文化向上のための食育活動を推進しよう

### 第2章 自然のゆたかな豊中にしていこう

中項目	番号	行動提案
自然に親しみ 学ぶ	22	豊中市内の身近な自然を調べ、情報を共有して交流し合おう
	23	野遊びや川遊び、星空観察など、子どもたちが自然体験できる場を増やそう
	24	近くの公園や社寺林、緑地などで葉ずれ、鳥の声、虫の音に耳をすまそう
自然を守り育 てる	25	農家などと交流し、農地や竹林の保全のしくみづくりを進めよう
	26	多様な生き物がすむ豊中の里地、里山を大切にしよう
	27	先人の知恵と苦勞を学びつつ、ため池を地域の宝として活用しよう
	28	市民の共有財産である公園、街路、学校などの樹木の大切さを見直し、管理や剪定の方法を考え直そう
	29	市民農園を増やし、豊中の農地を守ろう
	30	宅地を造成したり、建物を建てるときは、もとの地形や自然を残そう
	31	庭や敷地の土の面はできるだけ多く残して、雨が地面にしみ込むようにしよう
	32	落ち葉や剪定枝は堆肥にして自然に戻そう

	33	ツバメの巣や、赤坂下池のツバメのねぐらを見守り、大切にしよう
	34	在来の生態系をおびやかす外来生物は放さないでこよう
	35	キツネやタヌキなどの生息空間、希少植物の生息地を大切に、保全し続けよう
自然を造り広げる	36	近所のみどりの達人から草木を育てる楽しさを学ぼう
	37	家の庭やベランダにもみどりを増やし、トンボや野鳥を呼び戻そう
	38	学校や幼稚園などのビオトープづくりをすすめて生き物のすみかを増やし、自然学習の場としよう
	39	豊中に昔からある草や木を育て、多様な生き物が共存するよう、公園の自然度を高めよう
	40	豊中で新たな樹林・樹木を増やし、緑被率を高めよう

### 第3章 環境問題に配慮した事業活動を進めよう

中項目	番号	行動提案
企業の心がけ	41	ISO14001、もしくはEA21、エコステージ、KESなどの環境マネジメントシステムの導入や、独自の環境マネジメントシステムを導入しよう
	42	環境マネジメントシステムの導入が難しい事業所は、チェックシートを作ってオフィスの環境度を調べよう
	43	経営層は、従業員に必要な環境情報を知らせ環境教育の充実をはかろう
	44	自社の環境への取り組み情報をホームページ上に公開しよう
	45	環境関連法規制を遵守した事業活動を行おう
	46	工場や事業所の周辺や屋上、壁面の緑化を進め、「みどりのまちづくり」に貢献しよう
	47	企業・事業者は資源の有効活用（ムダの排除）を進めるとともに、再資源化可能物の回収システムづくりを地域協力型で進めよう
省資源・リサイクル（廃棄物の削減）	48	企業・事業者は再使用・再利用可能な廃棄物の分別・リサイクルシステムをつくろう
	49	事業所の生産活動を見直し、原材料の使用量削減と工程廃棄物の削減など省資源に取り組もう
	50	製品の使用後の再資源化を考慮して、原材料や部材を含めた環境配慮設計を進め、循環型社会の実現をめざそう
	51	節水型の器具を使用し水の使用量の削減に努めるとともに、雨水利用の促進を図ろう
省エネルギー	52	事業所の電気・ガス・石油類のエネルギー使用量を節約し、低炭素社会の実現に努めよう
	53	LED照明など、省エネ・長寿命の照明に切り替えよう
	54	建物に、太陽光発電などの自然エネルギーの導入を進めよう
グリーン購入・調達	55	自社のグリーン購入リストの作成に努めるなど、事業所で物品を購入する場合は、グリーン購入を積極的に進めよう
	56	事業所で部材などの購入をする際は、環境負荷の少ない製品を選ぶなど、グリーン調達を進めよう
CSR（企業の社会的責任）	57	地域清掃や地域緑化など、地域貢献活動を積極推進しよう
	58	経営と環境配慮を両立させ、先進的に環境に取り組む事業所をめざそう
	59	事業所は、市民や子どもたちを対象にした環境教育を積極的に推進しよう

#### 第4章 環境問題に配慮した交通のあり方を考えよう

中項目	番号	行動提案
エコカーの導入	60	車の購入を考えるとときは、エコカーを選ぼう
	61	エコカー導入に向けたエコステーションの整備を推進しよう
公共交通機関の利用促進	62	公共交通機関の利用ができる場所は、マイカーの利用を控えよう
	63	利用しやすく効率の良い公共交通システムへの改善・整備を進めよう
エコドライブ	64	アイドリングストップを実行しよう
	65	車を運転する際は、エコドライブを実践しよう
	66	車の窓を開けるなどして、エアコンの使用をひかえよう
	67	荷物もガソリンを食べるため、車を倉庫代わりにしないようにしよう
安全で楽しく移動できるまちづくり	68	燃費向上のため、定期的な点検・整備とタイヤの空気圧の点検をしよう
	69	標識や専用道など、自転車走りやすい道づくりを進めよう
	70	自転車利用の促進とレンタサイクルの普及を図ろう
	71	車いす、ベビーカーにやさしい道のある豊中のまちをつくろう
	72	自転車利用のルールを知り、マナーを守ろう
	73	渋滞や事故の原因となるような駐停車はやめよう
共同集配	74	健康と環境のためにできるだけ歩くとともに、歩いて楽しいまちをみんなで作ろう
	75	共同集配システムなどの効率的な輸送方法を考えよう（荷物も相乗りさせよう）

#### 第5章 パートナーシップで地球環境を守ろう

中項目	番号	行動提案
環境学習	76	PTA・公民館講座などでも環境学習を進めよう
	77	学校における環境教育を進めよう
ネットワーク	78	一人ひとりや一つの団体の活動も、ネットワークで広げよう
	79	地球環境を守るため、あらゆる世代の人、個人も事業所も、それぞれのアイデア・情報を出し合おう
	80	身近な地域の資源マップや環境マップを作成して、暮らしの改善・まちづくりに役立てよう
共生・連携	81	他者（次世代、他地域、他の生物など）に責任を押しつけず、生産活動や消費行動の環境影響を広い視野で考えよう
	82	環境問題やまちづくりなどに取り組む人々が交流しあう拠点を活用しよう
情報交換	83	市民・事業所・行政、学校や公民館と協力して、環境情報のネットワークをつくろう
PR	84	豊中アジェンダ 21 を多くの人・企業に PR しよう
地域活性化	85	とよなか市民環境会議の活動を活発にしよう
	86	地域通貨を活用し、環境活動と地域活性化を両立させよう
人材育成	87	豊中アジェンダ 21 を積極的に推進するための人づくりを進めよう
財政	88	豊中アジェンダ 21 を推進するため、財政基盤や環境基金を整えよう